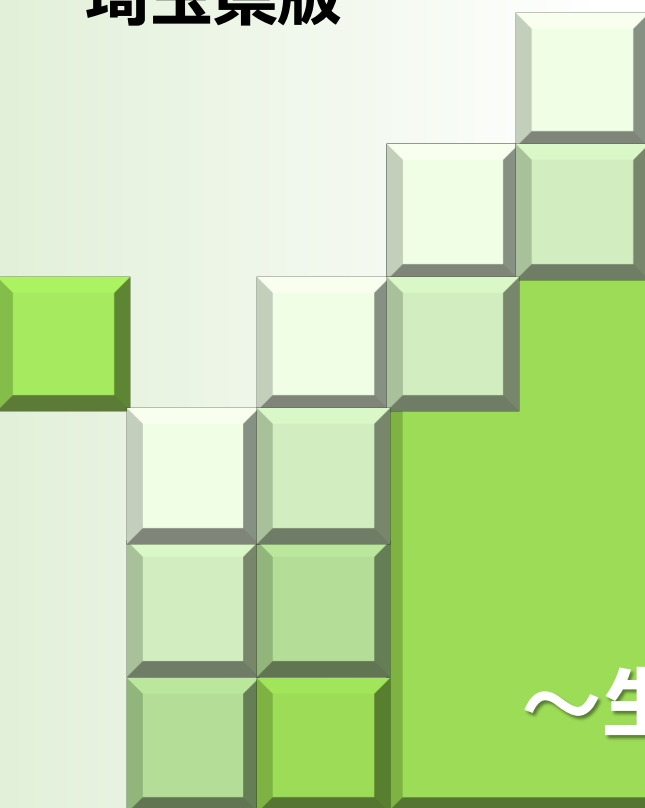




2024年度 「健康サポートアンケート」 集計結果について

～生活習慣病の予防・重症化予防にむけて～

**日本生命は47都道府県と包括連携協定等を締結し、
地域に根差した取組みを進めています**

日本生命グループは、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現を目指し、
「人」「地域社会」「地球環境」の3領域に取組み、サステナビリティ経営を推進しています。



NISSAY

日本生命保険相互会社
地域振興支援室

はじめに

日本生命グループは『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』を目指し、
「人」「地域社会」「地球環境」のサステナビリティ向上に向けた取組みを行っています。
そのうち「地域社会」領域では、全国47都道府県や、多くの市区町村との連携協定に
基づき、それぞれの地域・社会の課題に応じた様々な協働取組みを進めています。

2024年は新たに、11月から翌年3月の期間で、日本生活習慣病予防協会監修の
もと、地域の皆さまに生活習慣に関する情報のご提供等を通じてご自身の生活習慣に
ついて考えていただく「地域の健康サポート活動」に取組みました。
その一環として、当社営業職員約5万名による、地域の皆さまへの
生活習慣に関する意識実態調査「健康サポートアンケート」を実施し、
647,029名の方々からご回答をいただきました。

当報告書は、同アンケート結果の全国および都道府県ごとの集計結果です。

日本生命は、地域の皆さまの健康増進に、少しでも貢献してまいりたいと考えています。
自治体にて策定される、地域の健康増進政策のご検討の一助となれば幸いです。



埼玉県との 連携協定締結状況

締結日	2016/4/11
協定項目	
①	健康増進に関すること
②	がん対策に関すること
③	産業振興・中小企業の支援に関すること
④	障がい者の社会参加の推進に関すること
⑤	教育・文化・スポーツの振興に関すること

他9項目

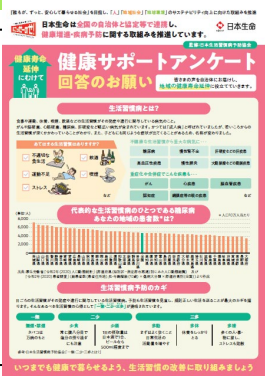
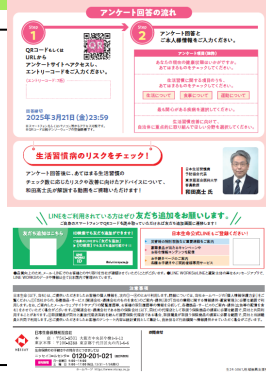
アンケート概要

アンケート期間：2024年11月25日(月)～2025年3月21日(金)

回答者数：647,029名（男性：295,504名、女性：351,525名）

実施方法：「健康サポートアンケート回答のお願い」でのWEBアンケート調査

実施主体：日本生命保険相互会社

アンケート項目

- Q1

あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまるものをチェックしてください。(単一回答)
- Q2

(生活) 以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。(複数選択可)
- Q3

(食事) 以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。(複数選択可)
- Q4

(運動) 以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。(複数選択可)
- Q5

最も関心がある疾病を選択してください。(単一回答)
- Q6

以下の生活習慣病・その他の疾病のうち、最も関心があるものを選択してください。(単一回答)
- Q7

生活習慣改善に向けて、自治体に重点的に取り組んでほしい分野を選択してください。(2つまで選択可)
- Q8

身の回りで、生活習慣改善に関する話を聞いてほしい方はいますか？(2つまで選択可)

「健康サポートアンケート回答のお願い」ビラ

回答者数（年代・性別）

全国

	回答者数					
	(人	対総数	男性 (人	対総数	女性 (人	対総数
～10代	11,985	1.9%	5,911	0.9%	6,074	0.9%
20代	79,080	12.2%	37,823	5.8%	41,257	6.4%
30代	101,394	15.7%	45,970	7.1%	55,424	8.6%
40代	113,602	17.6%	50,780	7.8%	62,822	9.7%
50代	156,499	24.2%	69,295	10.7%	87,204	13.5%
60代	118,779	18.4%	54,468	8.4%	64,311	9.9%
70代	52,960	8.2%	25,059	3.9%	27,901	4.3%
80代～	12,730	2.0%	6,198	1.0%	6,532	1.0%
合計	647,029	100.0%	295,504	45.7%	351,525	54.3%

埼玉県

	回答者数					
	(人	対総数	男性 (人	対総数	女性 (人	対総数
～10代	680	1.8%	309	0.8%	371	1.0%
20代	4,279	11.2%	2,016	5.3%	2,263	5.9%
30代	5,813	15.3%	2,682	7.1%	3,131	8.2%
40代	6,740	17.7%	3,195	8.4%	3,545	9.3%
50代	9,777	25.7%	4,506	11.8%	5,271	13.9%
60代	6,767	17.8%	3,299	8.7%	3,468	9.1%
70代	3,121	8.2%	1,529	4.0%	1,592	4.2%
80代～	861	2.3%	407	1.1%	454	1.2%
合計	38,038	100.0%	17,943	47.2%	20,095	52.8%

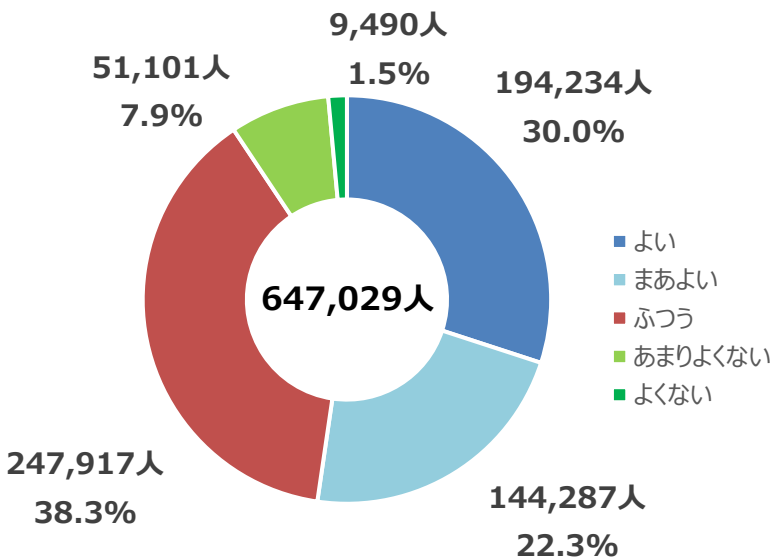
回答結果

Q1. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（単一回答）

全国

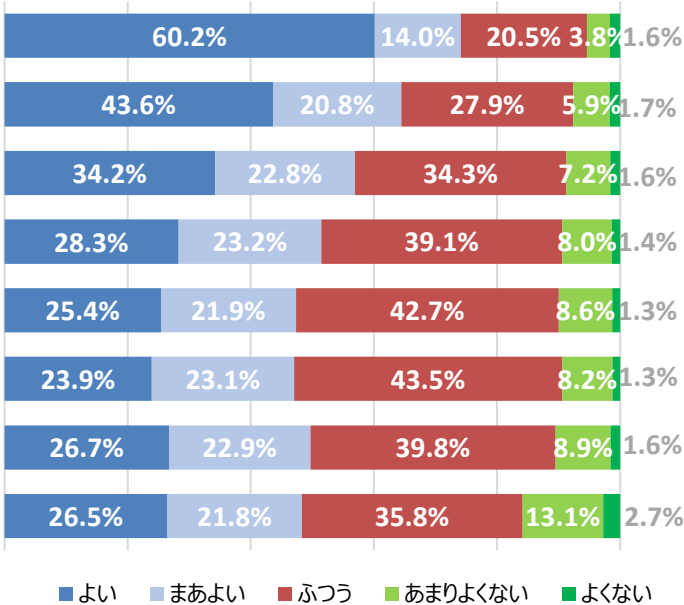
健康状態の割合

男女計



年代別の割合

年代	人数	構成比
～10代	11,985人	1.9%
20代	79,080人	12.2%
30代	101,394人	15.7%
40代	113,602人	17.6%
50代	156,499人	24.2%
60代	118,779人	18.4%
70代	52,960人	8.2%
80代～	12,730人	2.0%
合計	647,029人	100.0%



<日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント>



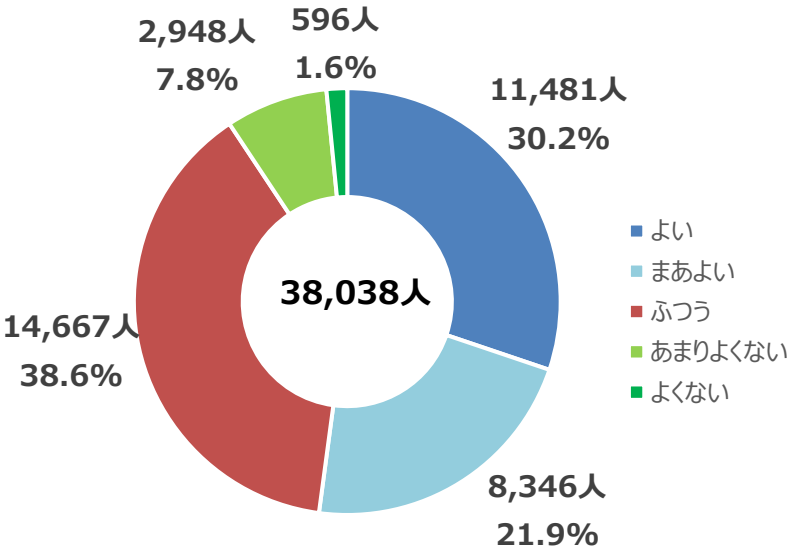
年齢とともに「よい・まあよい」の回答率が減少していきました。本アンケート以外での様々な場面で調査しても、同じ傾向がみられます。自然な老化現象に加え、何十年も体を酷使していくと、いろいろと問題がでてきます。日頃の心身のメンテナンスを心がけてください。

Q1. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（単一回答）

埼玉県

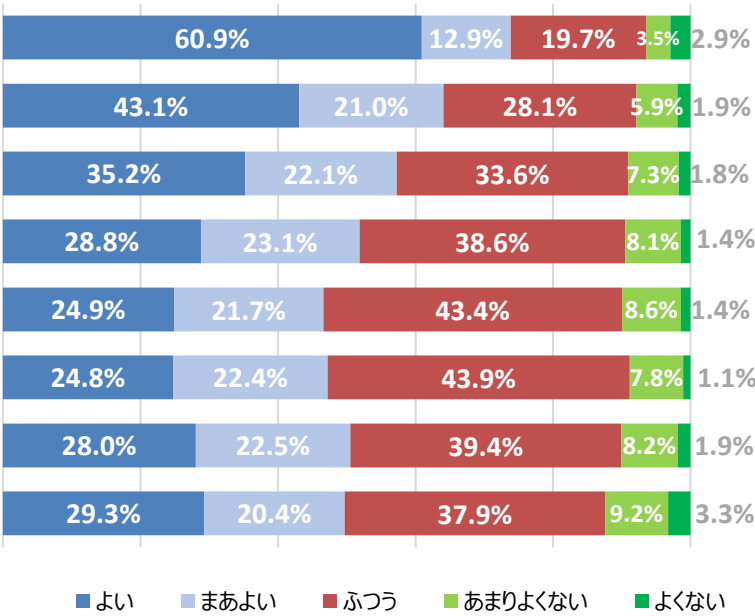
健康状態の割合

男女計



年代別の割合

年代	人数	構成比
～10代	680人	1.8%
20代	4,279人	11.2%
30代	5,813人	15.3%
40代	6,740人	17.7%
50代	9,777人	25.7%
60代	6,767人	17.8%
70代	3,121人	8.2%
80代～	861人	2.3%
合計	38,038人	100.0%



・ 健康状態と年代の関係は、全国と比較して、80代以上の「よい」の割合が高い

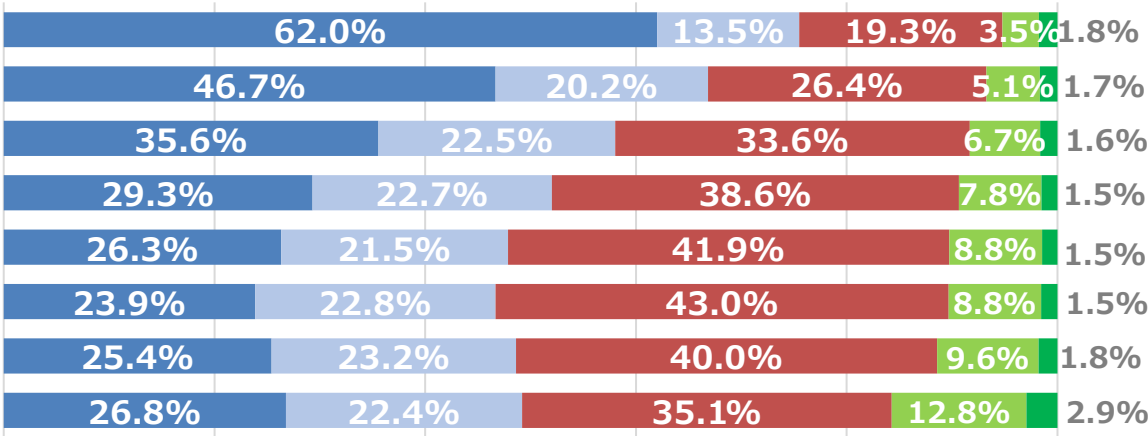
Q1. あなたの現在の健康状態はいかがですか。（単一回答）

全国

男性

年代	人数	構成比
～10代	5,911人	2.0%
20代	37,823人	12.8%
30代	45,970人	15.6%
40代	50,780人	17.2%
50代	69,295人	23.4%
60代	54,468人	18.4%
70代	25,059人	8.5%
80代～	6,198人	2.1%
合計	295,504人	100.0%

健康状態の年代別占率

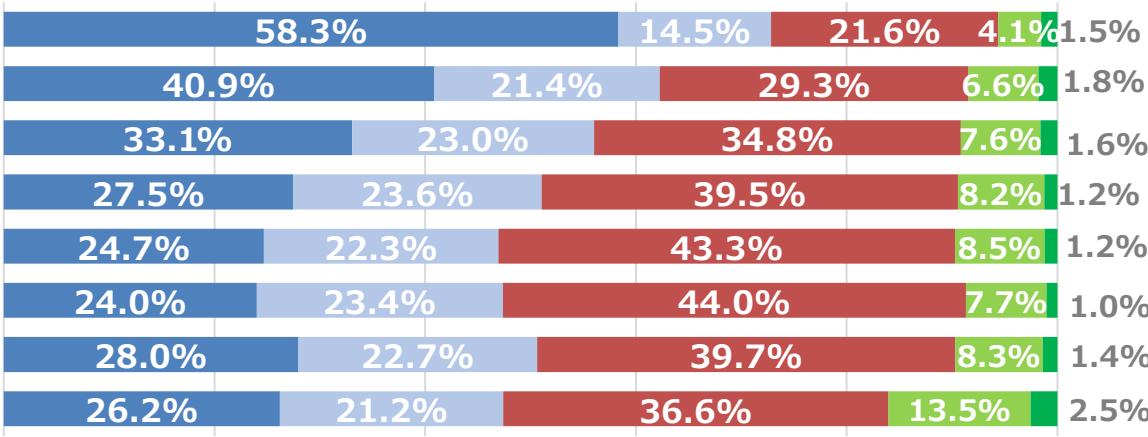


- よい
- まあよい
- ふつう
- あまりよくない
- よくない

全国

女性

年代	人数	構成比
～10代	6,074人	1.7%
20代	41,257人	11.7%
30代	55,424人	15.8%
40代	62,822人	17.9%
50代	87,204人	24.8%
60代	64,311人	18.3%
70代	27,901人	7.9%
80代～	6,532人	1.9%
合計	351,525人	100.0%



- よい
- まあよい
- ふつう
- あまりよくない
- よくない

Q1. あなたの現在の健康状態はいかがですか。(単一回答)

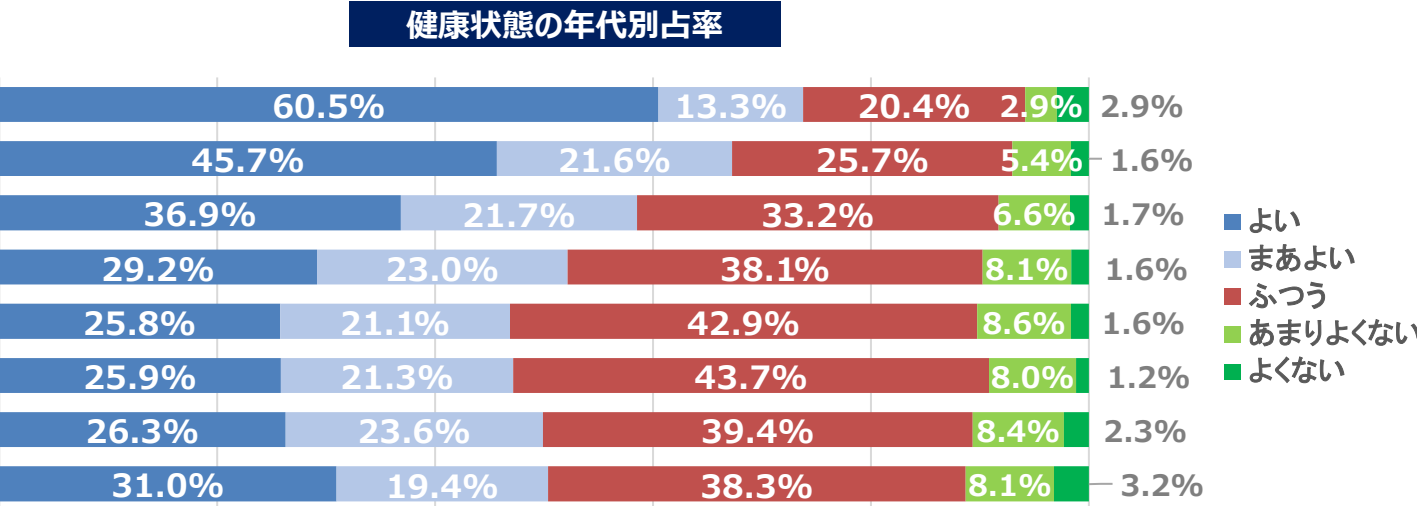
埼玉県

男性

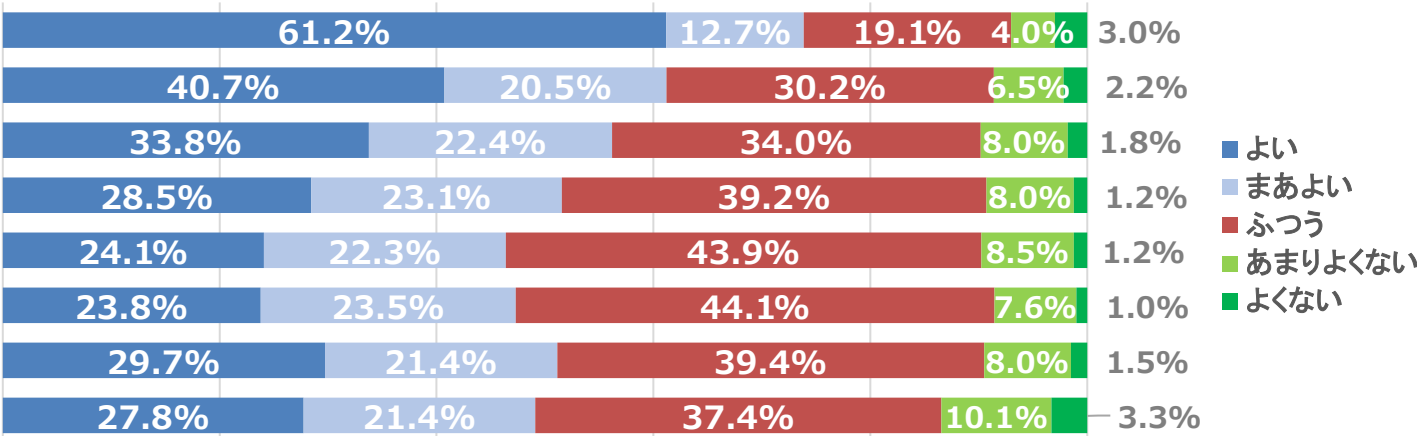
埼玉県

女性

年代	人数	構成比
～10代	309人	1.7%
20代	2,016人	11.2%
30代	2,682人	14.9%
40代	3,195人	17.8%
50代	4,506人	25.1%
60代	3,299人	18.4%
70代	1,529人	8.5%
80代～	407人	2.3%
合計	17,943人	100.0%



年代	人数	構成比
～10代	371人	1.8%
20代	2,263人	11.3%
30代	3,131人	15.6%
40代	3,545人	17.6%
50代	5,271人	26.2%
60代	3,468人	17.3%
70代	1,592人	7.9%
80代～	454人	2.3%
合計	20,095人	100.0%



Q1. あなたの現在の健康状態はいかがですか。(単一回答)

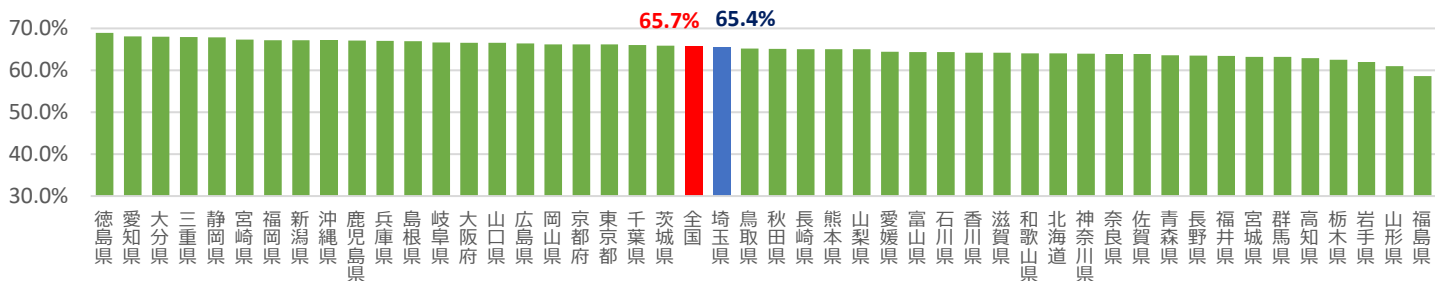
全国

埼玉県

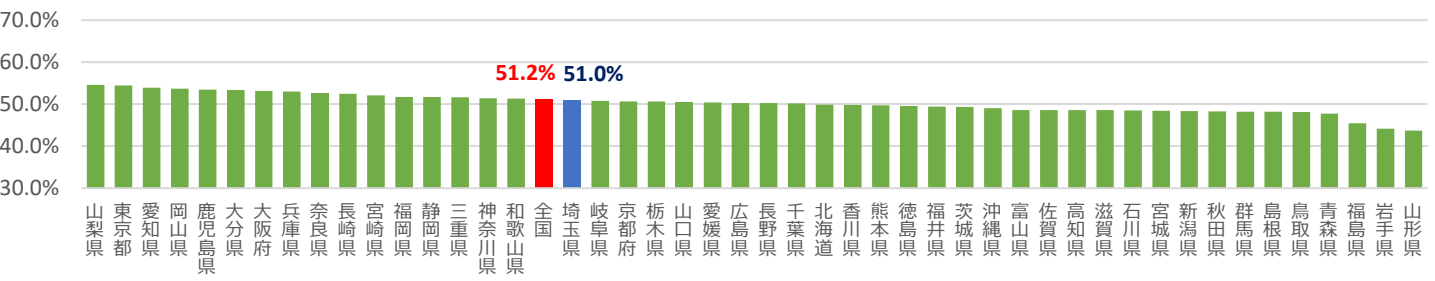
よい・まあよいの
回答者割合

65.4%
(全国22位)

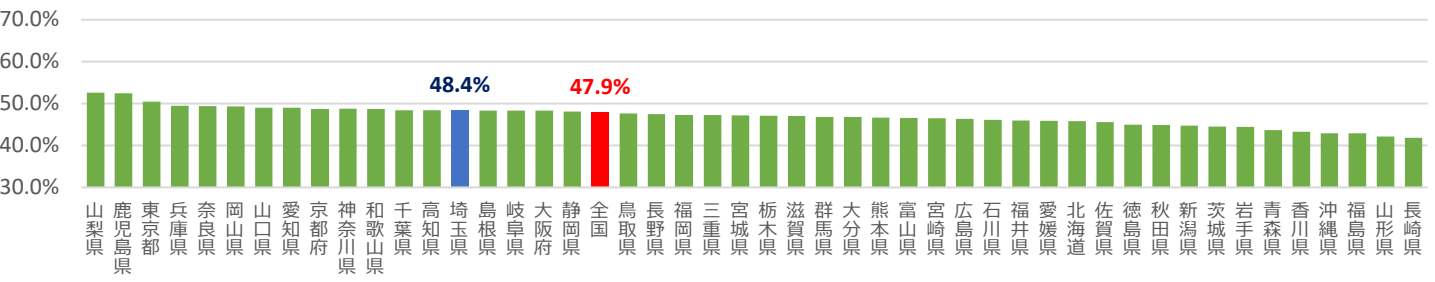
都道府県別よい・まあよいの回答者割合



51.0%
(全国17位)



48.4%
(全国14位)



・ 50代以下は全国値とほぼ同水準であり、60代以降は若干高位

Q2.（生活）以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。(複数選択可)

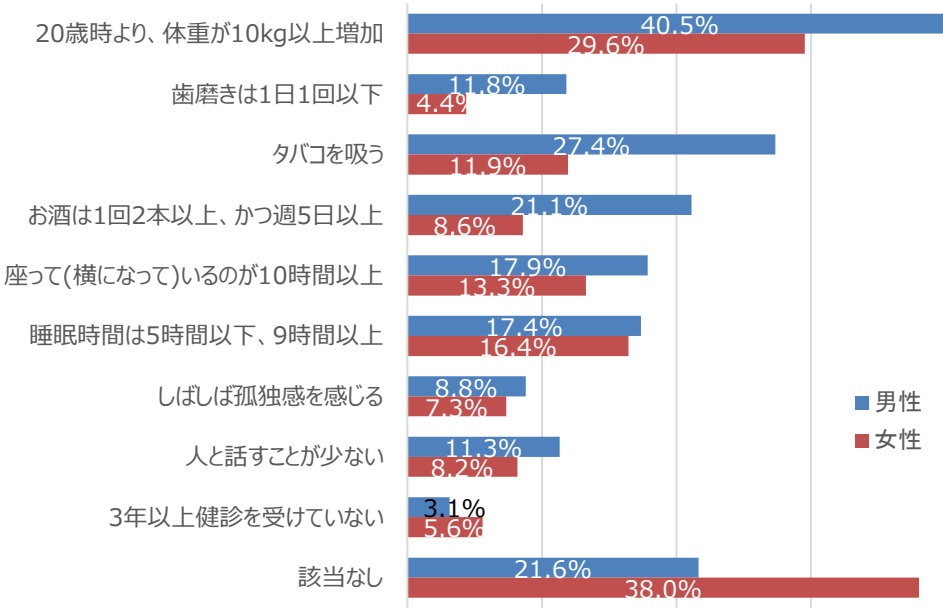
全国

埼玉県

チェックした回答者の割合

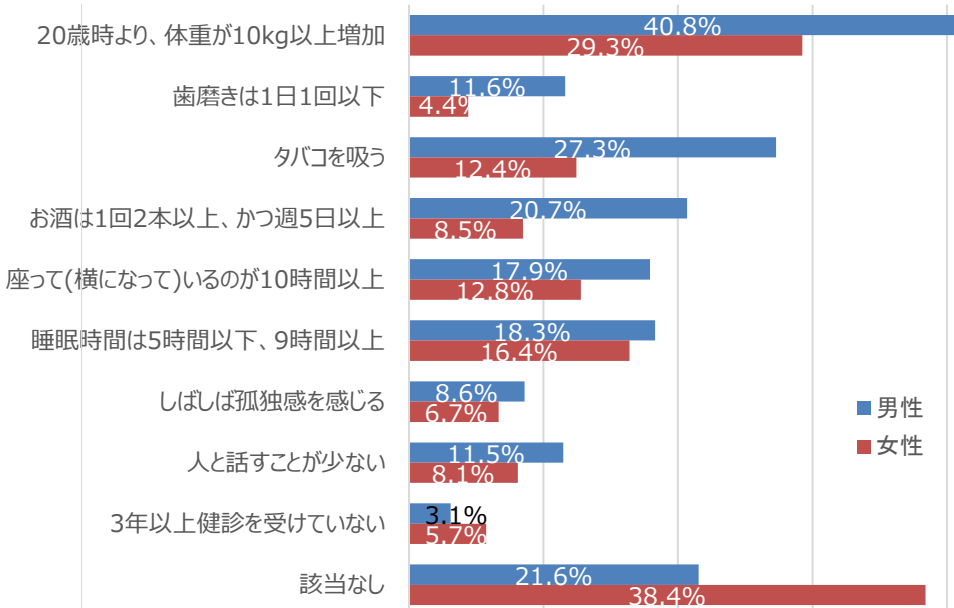
(分母が回答者数、分子が項目ごとのチェックした回答者数。複数選択可のため、合計が100%にならない。)

全国



※ 回答者数 男性295,504人 女性351,525人

埼玉県



※ 回答者数 男性17,943人 女性20,095人

＜日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント＞
 (全国) 生活習慣病の基となる肥満につながる「体重増加」が最多でした。不健康な生活習慣が体重増加として現れるためもっとも分かりやすいです。また、男性のほうが女性に比べて、不健康な生活習慣のチェックが、健診受診の項目を除き多い結果でした。健康寿命、平均寿命が女性より短い一因になっていることが、この調査でも明らかにされました。

(埼玉県) ・全国と比較すると、男性は「睡眠時間 5 時間以下、9時間以上」、女性は「喫煙」が若干多い傾向

Q2. (生活) 以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。(複数選択可)

全国

埼玉県

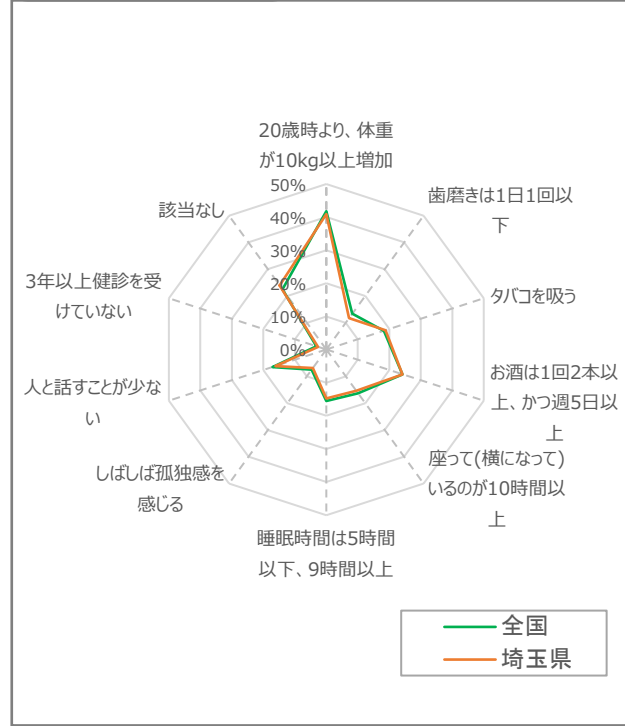
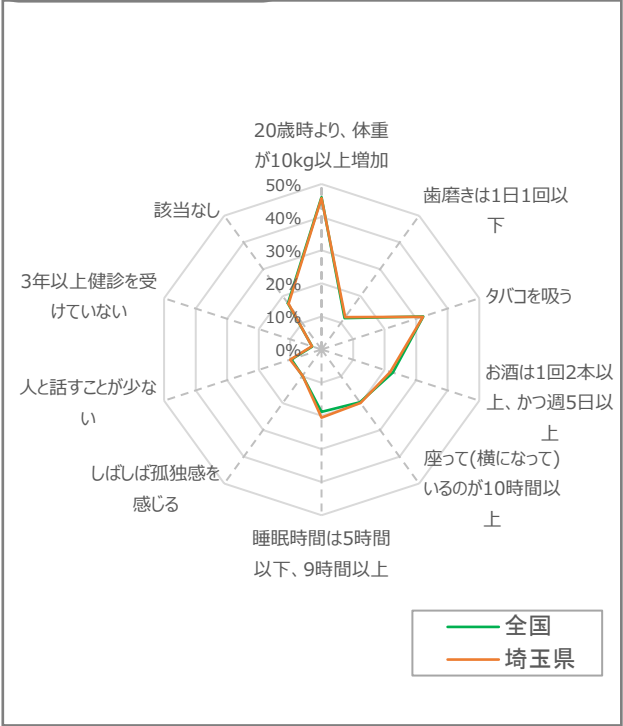
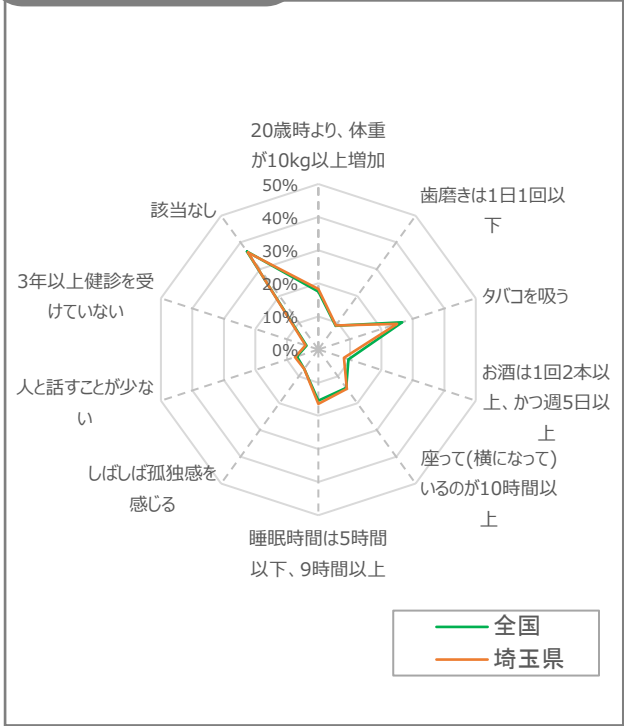
男性

年代別のチェックした回答者の割合

～20代

30代～50代

60代～



(全国) ・ いずれの項目も30代～50代に増加。特に「体重増加」「飲酒」が大きく増加
 ・ 60代以降は、「人と話すことが少ない」が増加

(埼玉県) ・ 全国と概ね同じ傾向

Q2.（生活）以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。（複数選択可）

全国

埼玉県

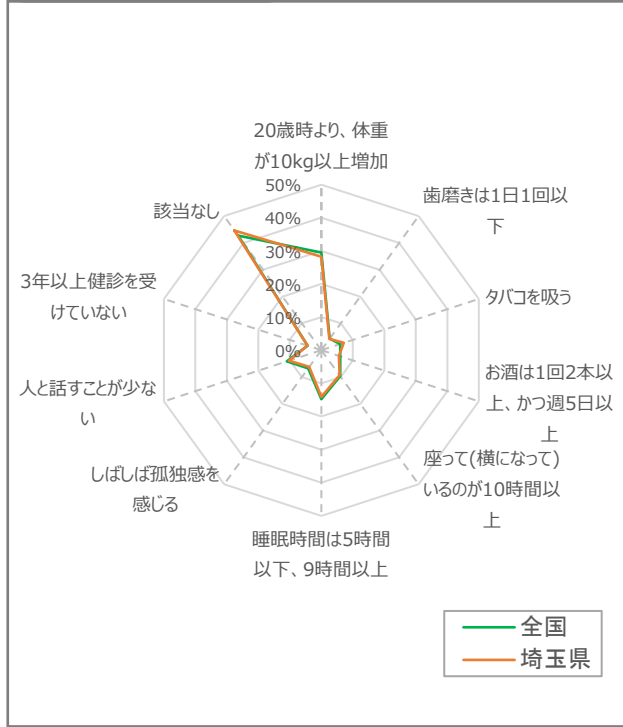
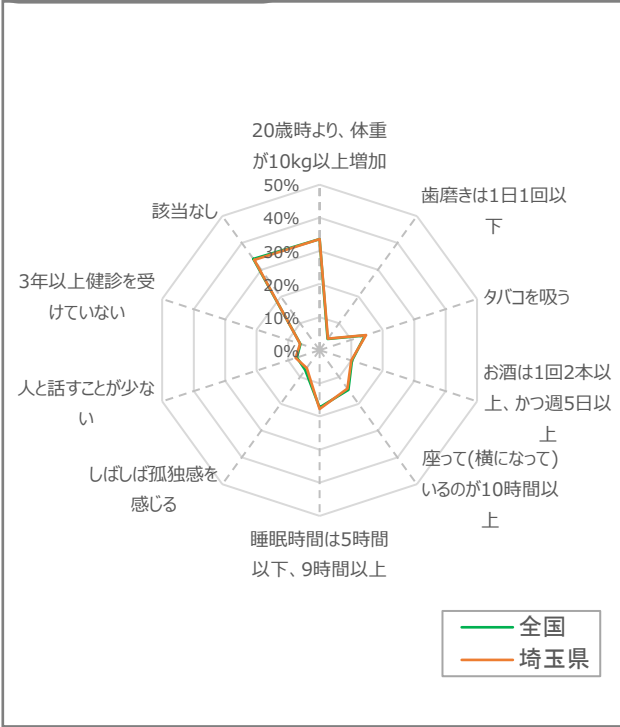
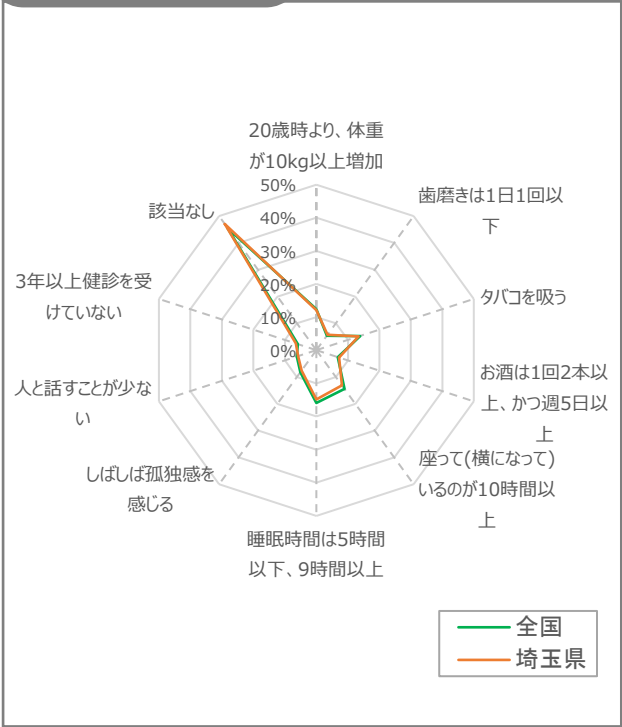
女性

年代別のチェックした回答者の割合

～20代

30代～50代

60代～



（全国）・20代以下は該当なし（≒悪い習慣がない）が多い（男性・他年代と比較しても高位）

（埼玉県）・全国と概ね同じ傾向

Q3.（食事）以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。（複数選択可）

全国

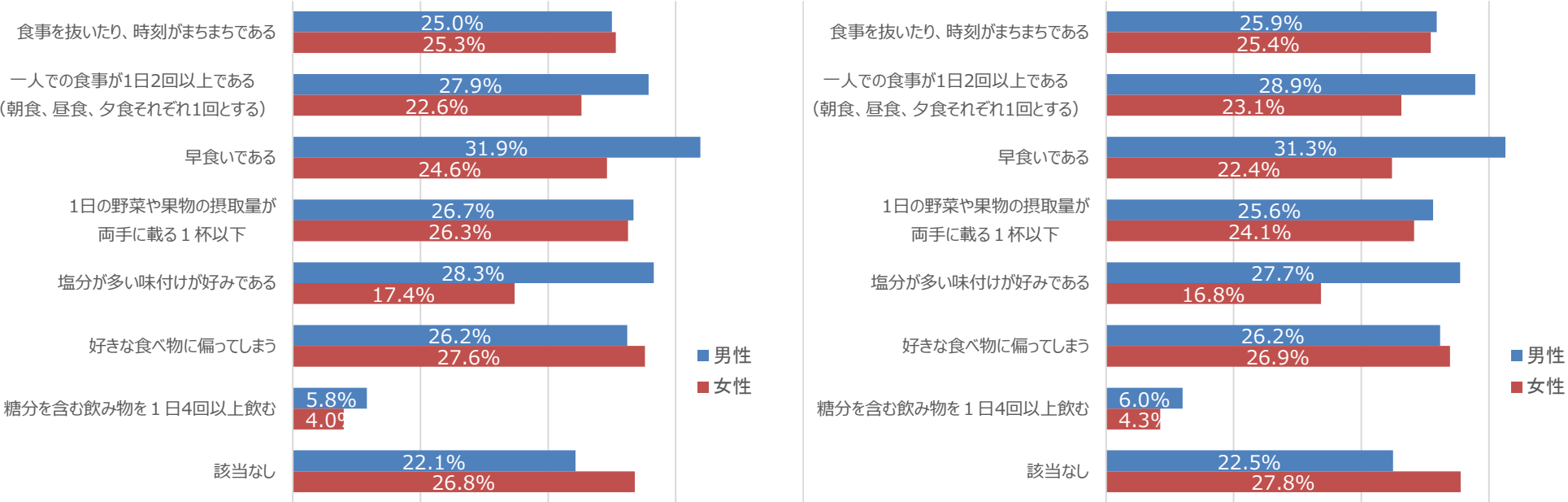
埼玉県

チェックした回答者の割合

（分母が回答者数、分子が項目ごとのチェックした回答者数。複数選択可のため、合計が100%にならない。）

全国

埼玉県



※ 回答者数 男性295,504人 女性351,525人

※ 回答者数 男性17,943人 女性20,095人

<日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント>

（全国） 体重増加に直結する「早食い」が男性に顕著に多かったこと、これはQ1において男性が女性に比べ体重増加該当率が多かった結果を裏付けるものといえましょう。それ以上に男女差が大きかった「塩分が多い味付けが好みである」は、今後の高血圧の発症・悪化が心配です。1日当たりの塩分摂取量が1g増加すると体重は0.8kg増加すると報告されています。

（埼玉県）・全国と比較すると、男性は「食事を抜く・時刻がまちまち」「1人での食事が1日2回」が若干多い

Q3.（食事）以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。（複数選択可）

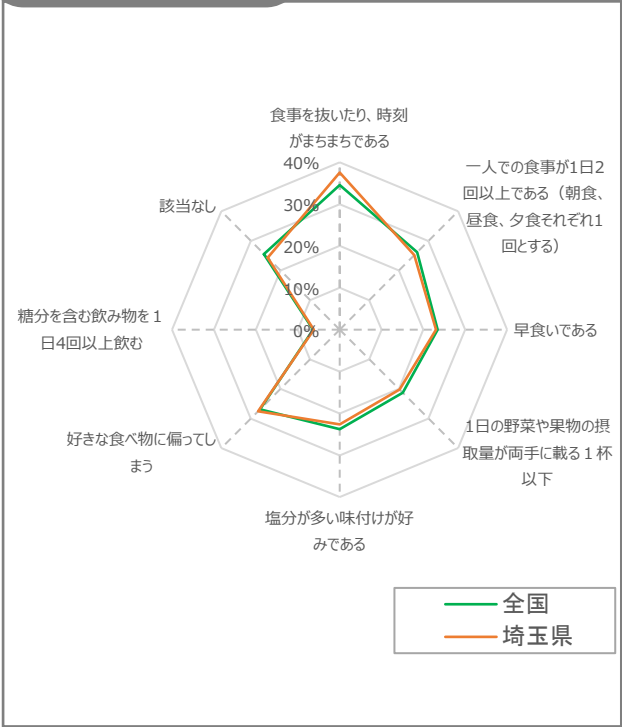
全国

埼玉県

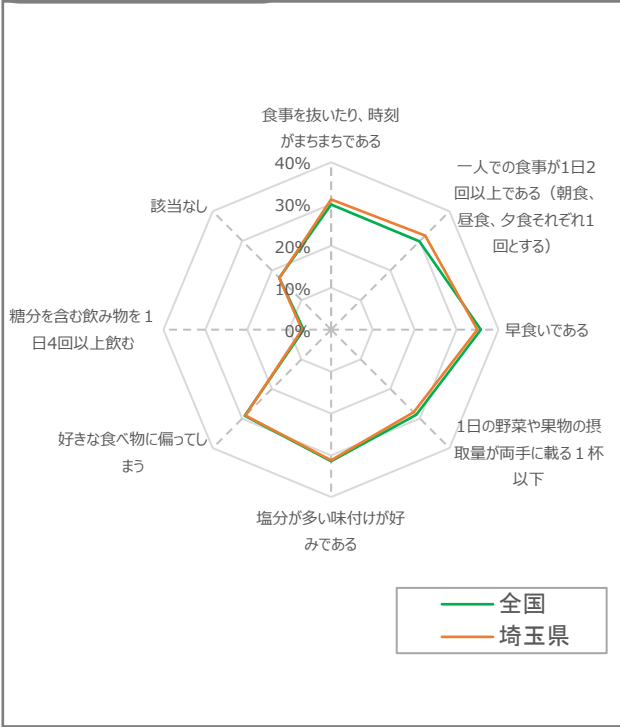
男性

年代別のチェックした回答者の割合

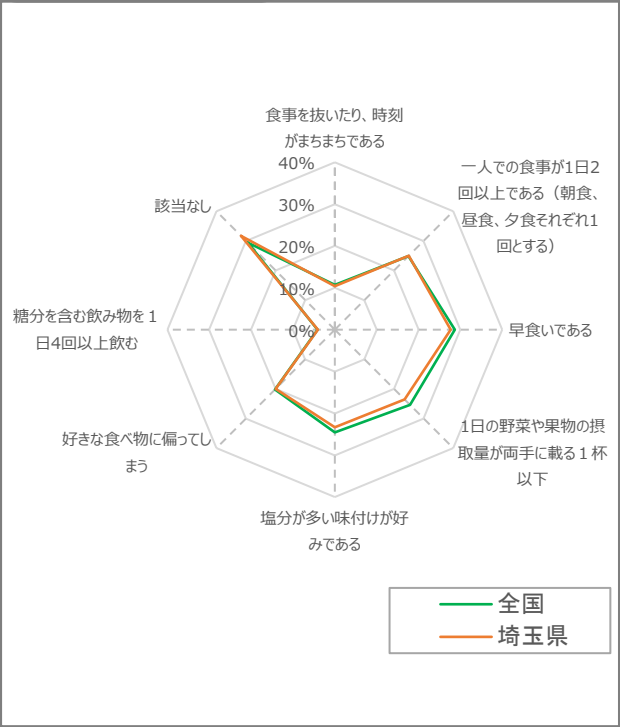
～20代



30代～50代



60代～



（全国）・ 就労のメイン世代である30代～50代は、他の年代に比べ多くの項目が高位であり、食生活が乱れている傾向
 ・ 「食事を抜く・時刻がまちまち」は、若年の方が多く、年代を重ねるごとに少なくなっていく傾向

（埼玉県）・ 全国と比較すると、20代以下は「食事を抜く・時刻がまちまち」、30代～50代は「1人での食事が1日2回」が多い

Q3.（食事）以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。（複数選択可）

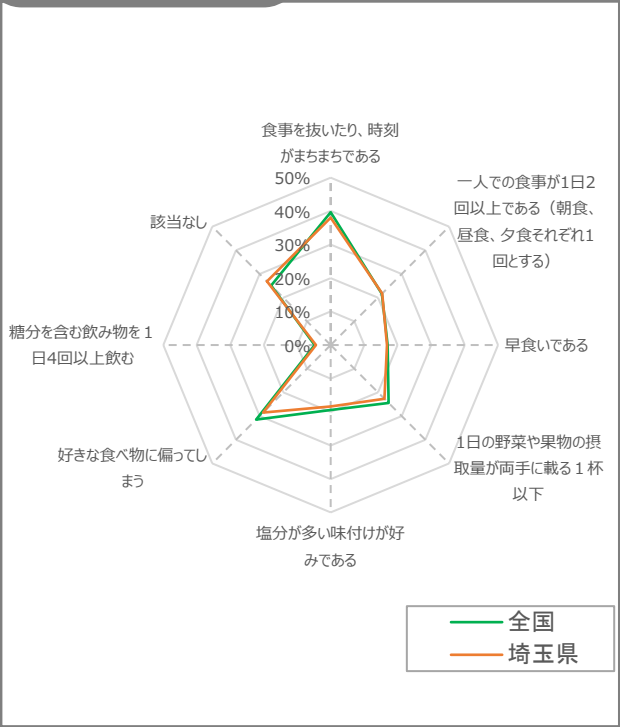
全国

埼玉県

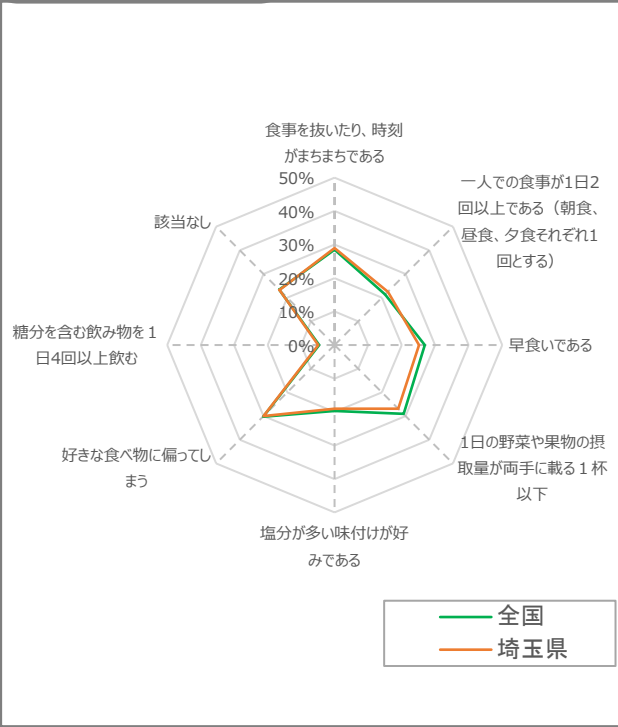
女性

年代別のチェックした回答者の割合

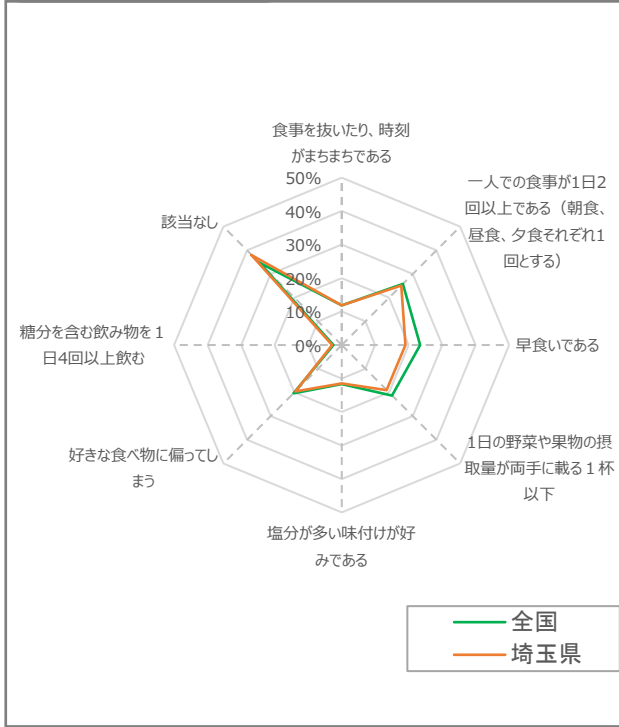
～20代



30代～50代



60代～



（全国）・「食事を抜く・時刻がまちまち」は、男性同様、若年の方が多い傾向
・ 60代以降は、他年代、男性と比較し、食習慣は良好

（埼玉県）・ 全国と比較すると、60代以降の「早食い」が多い

Q4.（運動）以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。（複数選択可）

全国

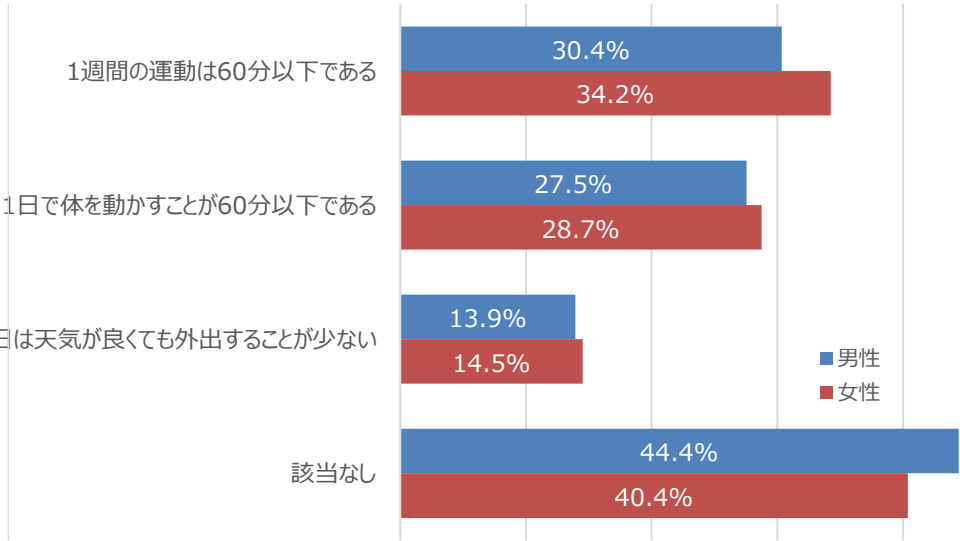
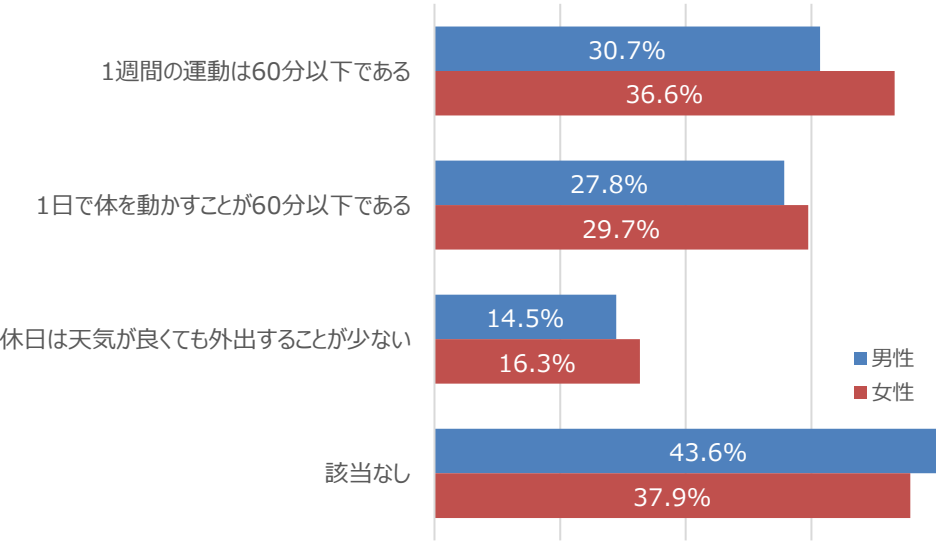
埼玉県

チェックした回答者の割合

（分母が回答者数、分子が項目ごとのチェックした回答者数。複数選択可のため、合計が100%にならない。）

全国

埼玉県



※ 回答者数 男性295,504人 女性351,525人

※ 回答者数 男性17,943人 女性20,095人

＜日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント＞
 （全国） 運動習慣の実施状況は女性のほうが好ましくない結果でした。日頃運動量が少ない人は、まずは10分長く歩くことから始めましょう。
 また雨・雪の日でも、寒さ・暑さが厳しい日でも継続できるような家の中でできる運動を日常生活にとり入れましょう。

（埼玉県）・全国と比較すると、「該当なし（≡運動習慣がある人）」が男女ともに若干多い

Q4.（運動）以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。（複数選択可）

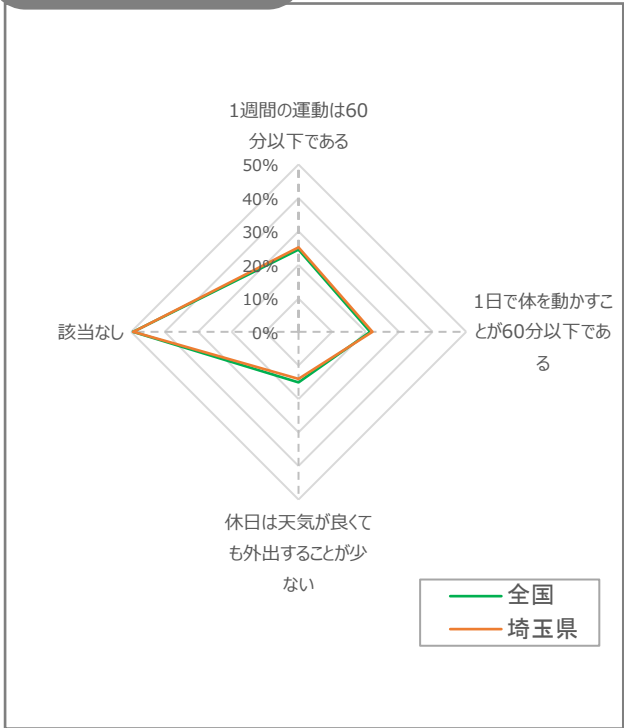
全国

埼玉県

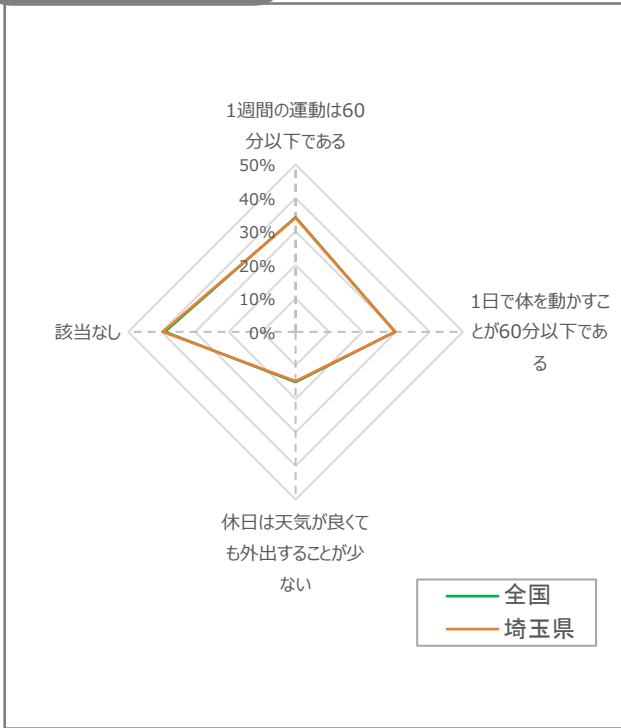
男性

年代別のチェックした回答者の割合

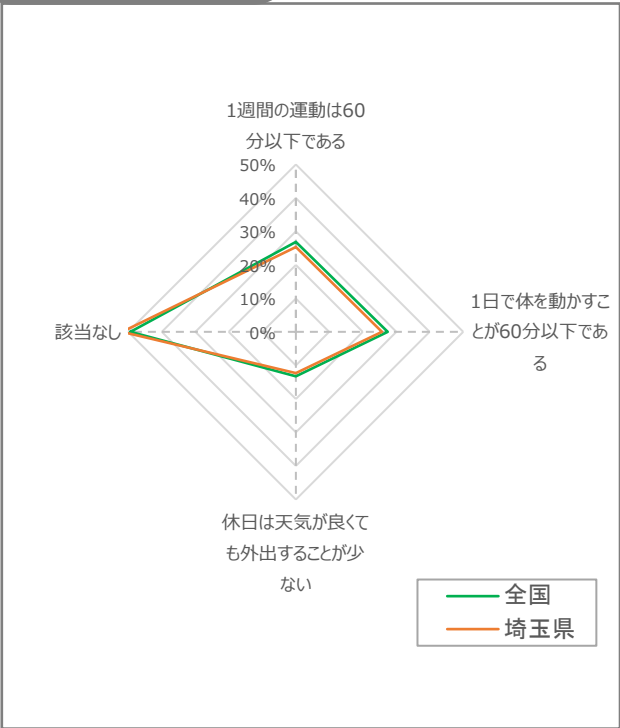
～20代



30代～50代



60代～



（全国）・年代別でみると、30代～50代のチェック割合が、該当なしを除き全体的に高く、運動量が少ない傾向

（埼玉県）・全国割合と概ね同様の傾向

Q4.（運動）以下の生活習慣に関する項目のうち、あてはまるものをチェックしてください。（複数選択可）

全国

埼玉県

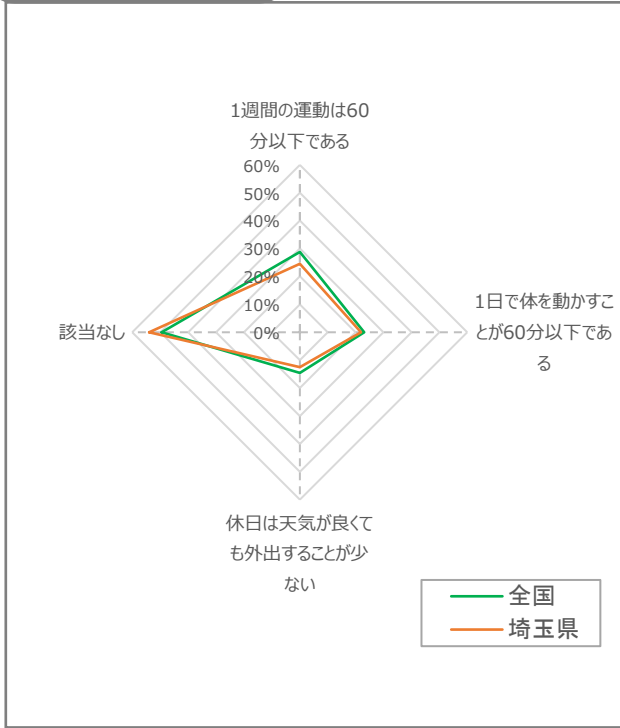
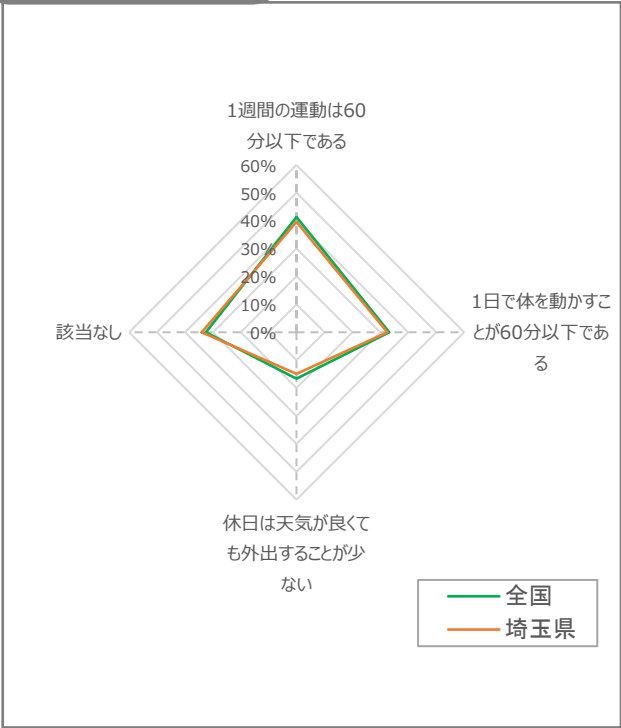
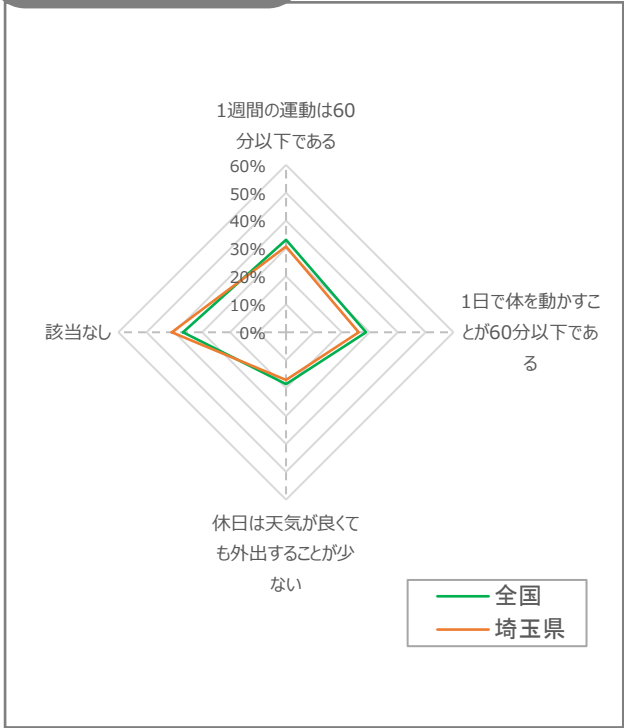
女性

年代別のチェックした回答者の割合

～20代

30代～50代

60代～



（全国）・年代別でみると、男性同様30代～50代のチェック割合が、該当なしを除き全体的に高い傾向

（埼玉県）・全年代で、「該当なし（≡運動習慣がある人）」が若干多い

Q2～4.生活習慣と健康状態

全国

埼玉県

健康状態別のチェックした項目

全国

	よい まあよい	ふつう	あまりよくない よくない
人数	338,521人	247,917人	60,591人

埼玉県

	よい まあよい	ふつう	あまりよくない よくない
人数	19,827人	14,667人	3,544人

生活

	よい まあよい	ふつう	あまりよくない よくない
20歳時より、体重が10kg以上増加	29.9%	38.4%	45.1%
歯磨きは1日1回以下	6.6%	8.3%	12.0%
タバコを吸う	17.3%	20.4%	22.8%
お酒は1回2本以上、かつ週5日以上	13.4%	15.0%	16.9%
座って(横になって)いるのが10時間以上	12.6%	16.8%	25.3%
睡眠時間は5時間以下、9時間以上	13.3%	18.9%	28.4%
しばしば孤独感を感じる	5.0%	9.0%	20.9%
人と話すことが少ない	6.7%	11.2%	19.2%
3年以上健診を受けていない	4.0%	4.8%	5.9%
該当なし	36.8%	26.1%	13.8%

	よい まあよい	ふつう	あまりよくない よくない
20歳時より、体重が10kg以上増加	30.0%	38.4%	45.3%
歯磨きは1日1回以下	6.8%	8.1%	12.2%
タバコを吸う	17.5%	21.0%	24.4%
お酒は1回2本以上、かつ週5日以上	13.2%	14.8%	17.4%
座って(横になって)いるのが10時間以上	12.3%	16.9%	24.1%
睡眠時間は5時間以下、9時間以上	13.9%	19.2%	28.3%
しばしば孤独感を感じる	4.7%	8.5%	19.9%
人と話すことが少ない	6.9%	11.1%	19.2%
3年以上健診を受けていない	4.1%	4.7%	5.6%
該当なし	36.3%	26.5%	14.1%

・ 自認している健康状態と生活習慣には相関あり

Q2～4.生活習慣と健康状態

全国

埼玉県

健康状態別のチェックした項目

全国

	よい まあよい	ふつう	あまりよくない よくない
人数	338,521人	247,917人	60,591人

食事

	よい まあよい	ふつう	あまりよくない よくない
食事を抜いたり、時刻がまちまちである	22.8%	25.8%	35.5%
一人での食事が1日2回以上である	22.2%	26.9%	32.9%
早食いである	25.4%	30.0%	33.7%
1日の野菜や果物の摂取量が両手に載る1杯以下	21.7%	30.2%	38.0%
塩分が多い味付けが好みである	19.2%	24.3%	31.9%
好きな食べ物に偏ってしまう	22.2%	30.4%	39.4%
糖分を含む飲み物を1日4回以上飲む	3.8%	5.2%	8.8%
該当なし	29.5%	21.0%	12.6%

運動

1週間の運動は60分以下である	29.8%	36.7%	45.3%
1日で体を動かすことが60分以下である	25.3%	31.5%	38.1%
休日は天気が良くても外出することが少ない	11.6%	17.6%	28.9%
該当なし	46.7%	36.1%	23.9%

埼玉県

	よい まあよい	ふつう	あまりよくない よくない
人数	19,827人	14,667人	3,544人

	よい まあよい	ふつう	あまりよくない よくない
食事を抜いたり、時刻がまちまちである	23.6%	26.2%	35.0%
一人での食事が1日2回以上である	22.8%	28.0%	34.5%
早食いである	24.2%	28.5%	32.1%
1日の野菜や果物の摂取量が両手に載る1杯以下	20.4%	27.8%	37.2%
塩分が多い味付けが好みである	18.8%	24.0%	31.5%
好きな食べ物に偏ってしまう	21.8%	30.1%	38.5%
糖分を含む飲み物を1日4回以上飲む	3.9%	5.5%	9.8%
該当なし	29.8%	22.1%	13.0%

1週間の運動は60分以下である	28.0%	35.3%	45.1%
1日で体を動かすことが60分以下である	24.9%	30.6%	36.3%
休日は天気が良くても外出することが少ない	10.6%	16.1%	26.8%
該当なし	48.5%	37.9%	25.5%

・ 食事・運動習慣についても関連あり

Q5.最も関心がある疾病を選択してください。(単一回答)

全国

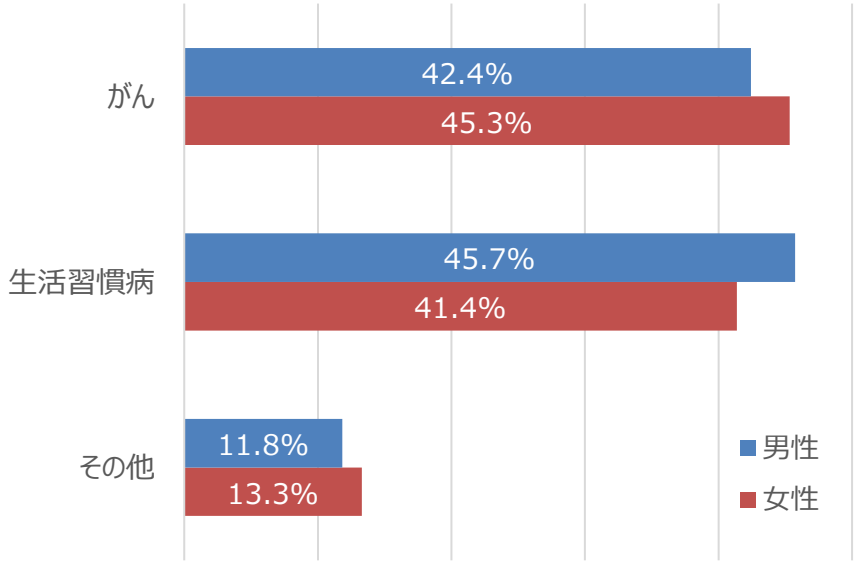
埼玉県

チェックした回答者の割合

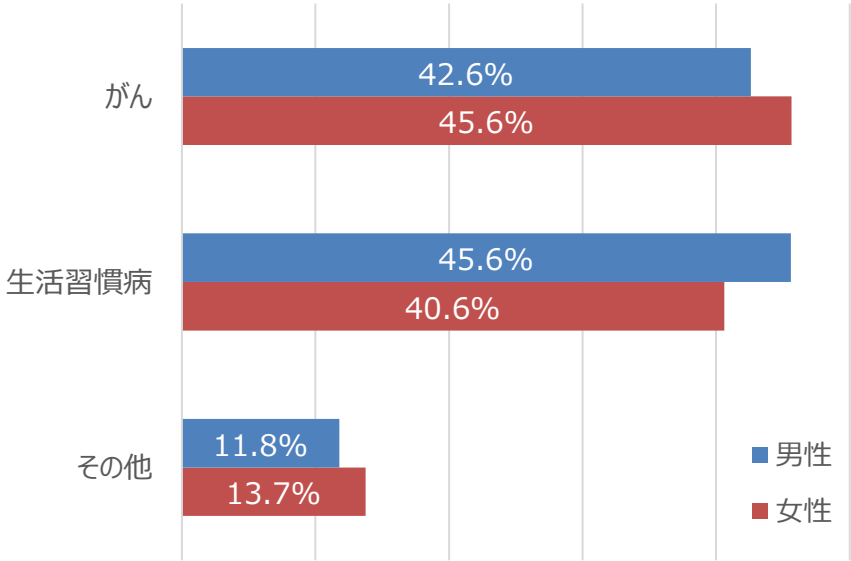
(分母が回答者数、分子が項目ごとのチェックした回答者数。)

全国

埼玉県



※ 回答者数 男性295,504人 女性351,525人



※ 回答者数 男性17,943人 女性20,095人

<日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント>

(全国) 男性のほうが飲酒、喫煙、食べ過ぎなどの不健康な生活を送っている人が多いため、必然的に女性に比べ生活習慣病がより気になったという結果です。がんのほうが生命に直接、危険があるように感じますが、生活習慣病への関心がんが同等であったことは、ある意味驚きの結果でした。しかし、生活習慣病疾患で通院している、あるいは健康診断で指摘されることもあり、身近で気になるためかもしれません。

(埼玉県)・最も関心がある項目は、男性は「生活習慣病」、女性は「がん」

Q5.最も関心がある疾病を選択してください。(単一回答)

全国

埼玉県

年代別の疾病ごとのチェック率

全国

埼玉県

全体

	がん	生活習慣病	その他	人数
～20代	41.4%	41.7%	16.9%	91,065
30代～50代	45.5%	43.3%	11.2%	371,495
60代～	42.3%	44.4%	13.3%	184,469

	がん	生活習慣病	その他	人数
～20代	41.6%	40.5%	18.0%	4,959
30代～50代	45.4%	43.2%	11.4%	22,330
60代～	43.0%	43.5%	13.5%	10,749

男性

	がん	生活習慣病	その他	人数
～20代	37.5%	45.1%	17.4%	43,734
30代～50代	43.1%	46.4%	10.5%	166,045
60代～	43.6%	44.8%	11.7%	85,725

	がん	生活習慣病	その他	人数
～20代	38.5%	44.6%	17.0%	2,325
30代～50代	42.8%	46.8%	10.4%	10,383
60代～	44.1%	43.7%	12.2%	5,235

女性

	がん	生活習慣病	その他	人数
～20代	44.9%	38.5%	16.6%	47,331
30代～50代	47.4%	40.7%	11.9%	205,450
60代～	41.2%	44.1%	14.7%	98,744

	がん	生活習慣病	その他	人数
～20代	44.3%	36.9%	18.8%	2,634
30代～50代	47.7%	40.2%	12.2%	11,947
60代～	41.9%	43.4%	14.7%	5,514

＜日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント＞

（全国） 女性は喫煙者、多量飲酒者が少ないため、たとえ肥満でも健康障害をあまり引き起こしにくい皮下脂肪型肥満の方が多いことから、生活習慣病になりにくく、その結果、生活習慣病よりがんのほうに関心があるという結果になったと考えられます。

がんは高齢者に発生しやすいのですが、女性の代表的ながんである子宮頸がん、乳がんは若年・中年に多く発生することから、60歳未満でのがんの関心率が生活習慣病よりも多くなっていると考えられました。

（埼玉県）・ 60代以降の男性の最も関心がある項目は「がん」

Q5.最も関心がある疾病を選択してください。(単一回答)

全国

健康状態別の疾病ごとのチェック率

全体

	がん	生活習慣病	その他	人数
よい	48.0%	37.1%	14.9%	194,234人
まあよい	43.6%	45.6%	10.8%	144,287人
ふつう	42.4%	46.1%	11.5%	247,917人
あまりよくない	38.5%	48.7%	12.8%	51,101人
よくない	39.8%	37.8%	22.4%	9,490人
全体	44.0%	43.4%	12.6%	647,029人

男性

	がん	生活習慣病	その他	人数
よい	46.5%	39.1%	14.4%	91,784人
まあよい	42.0%	48.5%	9.6%	64,870人
ふつう	40.8%	48.5%	10.7%	110,863人
あまりよくない	36.2%	52.3%	11.5%	23,250人
よくない	37.7%	40.0%	22.2%	4,737人
全体	42.4%	45.7%	11.8%	295,504人

女性

	がん	生活習慣病	その他	人数
よい	49.3%	35.4%	15.4%	102,450人
まあよい	45.0%	43.2%	11.8%	79,417人
ふつう	43.7%	44.1%	12.2%	137,054人
あまりよくない	40.4%	45.8%	13.8%	27,851人
よくない	41.9%	35.6%	22.5%	4,753人
全体	45.3%	41.4%	13.3%	351,525人

全国

Q5.最も関心がある疾病を選択してください。(単一回答)

埼玉県

健康状態別の疾病ごとのチェック率

全体

	がん	生活習慣病	その他	人数
よい	48.7%	36.6%	14.7%	11,481人
まあよい	44.0%	45.3%	10.8%	8,346人
ふつう	42.7%	45.4%	11.9%	14,667人
あまりよくない	36.2%	50.2%	13.6%	2,948人
よくない	39.1%	36.1%	24.8%	596人
全体	44.2%	43.0%	12.8%	38,038人

男性

	がん	生活習慣病	その他	人数
よい	47.7%	38.4%	13.9%	5,572人
まあよい	41.4%	48.9%	9.7%	3,886人
ふつう	40.9%	48.4%	10.7%	6,820人
あまりよくない	35.0%	52.6%	12.4%	1,367人
よくない	37.6%	40.6%	21.8%	298人
全体	42.6%	45.6%	11.8%	17,943人

女性

	がん	生活習慣病	その他	人数
よい	49.6%	35.0%	15.4%	5,909人
まあよい	46.2%	42.1%	11.7%	4,460人
ふつう	44.2%	42.9%	12.9%	7,847人
あまりよくない	37.1%	48.1%	14.7%	1,581人
よくない	40.6%	31.5%	27.9%	298人
全体	45.6%	40.6%	13.7%	20,095人

Q6.以下の生活習慣病・その他の疾病のうち、最も関心があるものを選択してください。（単一回答）

全国

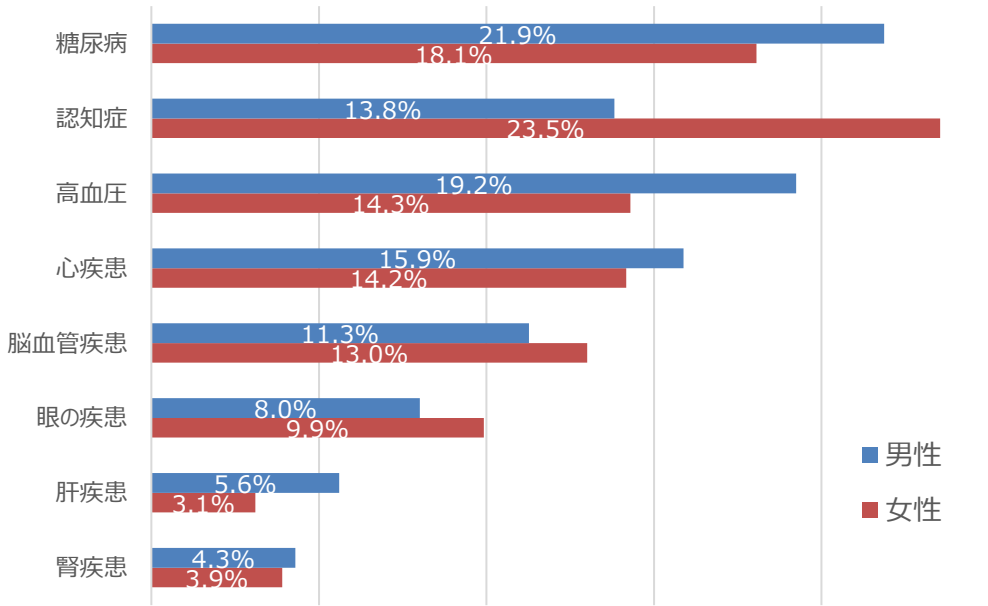
埼玉県

チェックした回答者の割合

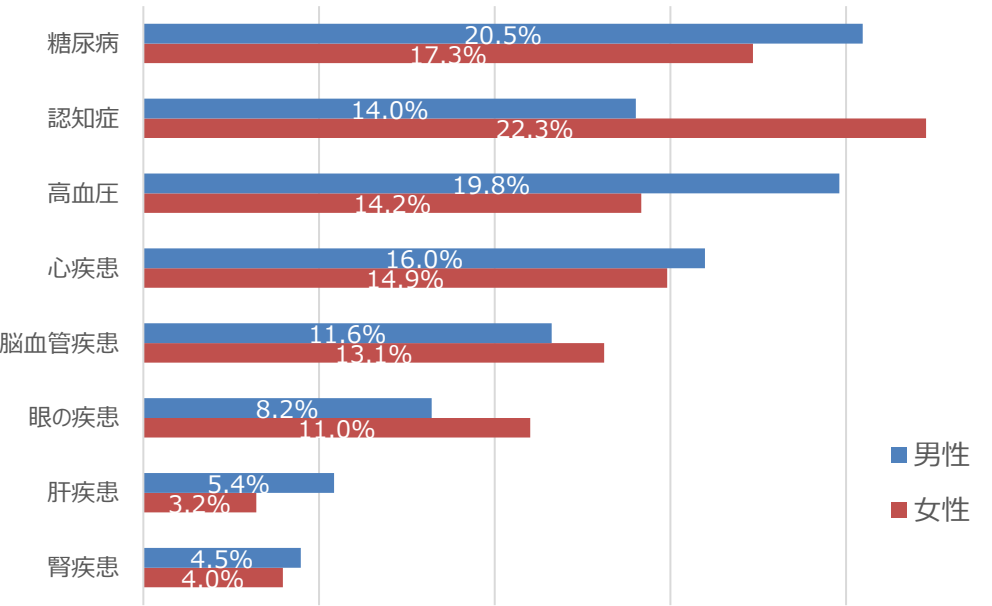
（分母が回答者数、分子が項目ごとのチェックした回答者数。）

全国

埼玉県



※ 回答者数 男性295,504人 女性351,525人



※ 回答者数 男性17,943人 女性20,095人

<日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント>

（全国） 男女における回答状況の違いは、罹患率、死亡者数の男女の違いを如実に反映している結果でした。生活習慣病の中でも、糖尿病はそれ自体の独特の合併症があること、認知症は第三者にも病状がわかる疾患であるため身近に感じるのでしょう。患者数では高血圧がトップであることから、上位にランクインしたと考えられます。

（埼玉県）・全国と比較すると、男女ともに「糖尿病」への関心が若干低い

Q6.以下の生活習慣病・その他の疾病のうち、 最も関心があるものを選択してください。（単一回答）

全国

埼玉県

年代別の疾病ごとのチェック率

全国

埼玉県

全体

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症
～20代	19.8%	7.5%	14.5%	28.4%	3.3%	3.1%	11.1%	12.4%
30代～50代	14.7%	12.7%	16.8%	20.7%	4.2%	5.0%	8.8%	17.0%
60代～	13.0%	13.5%	17.2%	13.7%	4.3%	3.2%	8.5%	26.6%

心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症
21.1%	7.8%	13.2%	26.5%	3.5%	3.4%	12.5%	12.0%
15.0%	13.0%	17.1%	19.9%	4.4%	5.2%	9.3%	16.2%
13.6%	13.2%	18.0%	13.1%	4.1%	2.8%	9.2%	25.9%

男性

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症
～20代	19.4%	6.8%	16.4%	29.2%	2.9%	3.7%	10.5%	11.0%
30代～50代	15.6%	11.6%	19.7%	22.7%	4.3%	6.9%	7.7%	11.6%
60代～	14.7%	12.9%	19.8%	16.6%	5.1%	4.1%	7.4%	19.5%

心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症
21.5%	7.0%	15.1%	26.8%	3.3%	3.5%	11.2%	11.5%
15.4%	12.1%	20.3%	21.6%	4.5%	6.8%	7.9%	11.5%
14.8%	12.7%	21.0%	15.3%	4.9%	3.6%	7.6%	20.1%

女性

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症
～20代	20.2%	8.0%	12.7%	27.6%	3.6%	2.6%	11.6%	13.6%
30代～50代	14.0%	13.6%	14.4%	19.2%	4.1%	3.6%	9.7%	21.4%
60代～	11.6%	14.1%	14.9%	11.1%	3.6%	2.4%	9.5%	32.7%

心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症
20.7%	8.6%	11.5%	26.2%	3.6%	3.3%	13.6%	12.5%
14.7%	13.8%	14.3%	18.3%	4.4%	3.7%	10.5%	20.3%
12.5%	13.8%	15.2%	11.0%	3.2%	2.0%	10.8%	31.3%

<日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント>

（全国） 高齢で発症率が上昇する認知症、脳血管疾患は、60代以降が20代以下の2倍という結果でした。これは患者数の実態と類似しています。眼の疾患は、高齢者では白内障が代表ですが、若年者ではアレルギー疾患（花粉症）、眼精疲労、近視などによるものと思われます。

（埼玉県）・全国と比較すると概ね同様の傾向だが、「糖尿病」への関心が男女全年代で低い。

Q6.以下の生活習慣病・その他の疾病のうち、 最も関心があるものを選択してください。（単一回答）

全国

健康状態別の疾病ごとのチェック率

全体

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症	人数
よい	18.0%	11.3%	15.7%	18.2%	3.3%	3.4%	9.9%	20.1%	194,234人
まあよい	13.6%	13.0%	16.6%	19.7%	4.1%	4.4%	9.4%	19.2%	144,287人
ふつう	13.5%	12.5%	17.6%	20.3%	4.1%	4.4%	8.5%	19.0%	247,917人
あまりよくない	13.8%	12.5%	15.2%	23.2%	5.8%	6.1%	7.5%	16.0%	51,101人
よくない	15.7%	10.8%	14.3%	20.0%	8.2%	5.7%	9.1%	16.2%	9,490人
全体	15.0%	12.2%	16.6%	19.8%	4.1%	4.2%	9.0%	19.1%	647,029人

男性

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症	人数
よい	18.8%	10.8%	18.3%	20.0%	3.5%	4.5%	9.1%	15.1%	91,784人
まあよい	14.5%	12.2%	19.6%	21.7%	4.3%	5.9%	8.2%	13.7%	64,870人
ふつう	14.5%	11.3%	20.4%	22.8%	4.4%	6.0%	7.4%	13.3%	110,863人
あまりよくない	14.7%	10.9%	17.4%	25.8%	6.2%	7.5%	6.3%	11.4%	23,250人
よくない	16.7%	10.2%	14.7%	21.5%	9.1%	5.9%	8.6%	13.3%	4,737人
全体	15.9%	11.3%	19.2%	21.9%	4.3%	5.6%	8.0%	13.8%	295,504人

女性

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症	人数
よい	17.4%	11.7%	13.3%	16.7%	3.2%	2.5%	10.7%	24.6%	102,450人
まあよい	12.9%	13.6%	14.2%	18.1%	4.0%	3.2%	10.3%	23.7%	79,417人
ふつう	12.7%	13.5%	15.3%	18.4%	3.9%	3.1%	9.5%	23.6%	137,054人
あまりよくない	13.1%	13.8%	13.4%	21.1%	5.5%	4.9%	8.5%	19.8%	27,851人
よくない	14.8%	11.5%	13.9%	18.4%	7.3%	5.4%	9.6%	19.1%	4,753人
全体	14.2%	13.0%	14.3%	18.1%	3.9%	3.1%	9.9%	23.5%	351,525人

全国

Q6.以下の生活習慣病・その他の疾病のうち、 最も関心があるものを選択してください。（単一回答）

埼玉県

健康状態別の疾病ごとのチェック率

全体

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症	人数
よい	19.1%	11.6%	16.2%	16.8%	3.8%	3.2%	10.4%	18.8%	11,481人
まあよい	13.4%	13.5%	16.6%	19.0%	4.0%	4.2%	10.1%	19.1%	8,346人
ふつう	14.0%	12.2%	17.9%	19.6%	4.1%	4.5%	9.2%	18.3%	14,667人
あまりよくない	13.5%	13.4%	15.4%	21.7%	6.4%	6.5%	8.1%	15.1%	2,948人
よくない	16.1%	12.1%	11.7%	20.3%	6.9%	6.7%	8.1%	18.1%	596人
全体	15.4%	12.4%	16.8%	18.8%	4.2%	4.3%	9.7%	18.4%	38,038人

男性

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症	人数
よい	19.4%	11.0%	19.2%	17.8%	3.6%	4.3%	9.2%	15.5%	5,572人
まあよい	13.3%	13.1%	19.7%	21.4%	4.4%	5.4%	8.5%	14.3%	3,886人
ふつう	15.0%	11.1%	21.1%	21.6%	4.6%	6.0%	7.5%	13.1%	6,820人
あまりよくない	13.7%	12.1%	17.9%	22.9%	7.2%	7.4%	7.2%	11.6%	1,367人
よくない	20.5%	12.1%	11.1%	21.5%	6.7%	6.4%	7.4%	14.4%	298人
全体	16.0%	11.6%	19.8%	20.5%	4.5%	5.4%	8.2%	14.0%	17,943人

女性

	心疾患	脳血管疾患	高血圧	糖尿病	腎疾患	肝疾患	眼の疾患	認知症	人数
よい	18.9%	12.1%	13.5%	15.9%	3.9%	2.3%	11.6%	21.9%	5,909人
まあよい	13.6%	13.8%	13.9%	17.0%	3.7%	3.3%	11.6%	23.3%	4,460人
ふつう	13.1%	13.2%	15.2%	17.9%	3.7%	3.3%	10.7%	22.8%	7,847人
あまりよくない	13.3%	14.5%	13.2%	20.6%	5.6%	5.7%	9.0%	18.1%	1,581人
よくない	11.7%	12.1%	12.4%	19.1%	7.0%	7.0%	8.7%	21.8%	298人
全体	14.9%	13.1%	14.2%	17.3%	4.0%	3.2%	11.0%	22.3%	20,095人

Q7.生活習慣改善に向けて、自治体に重点的に取り組んでほしい分野を選択してください。(2つまで選択可)

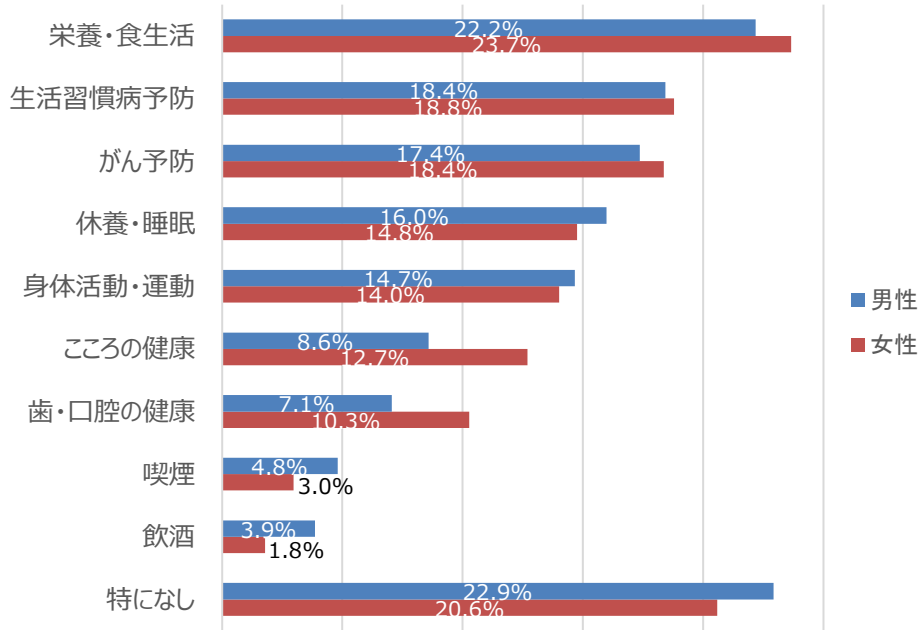
全国

埼玉県

チェックした回答者の割合

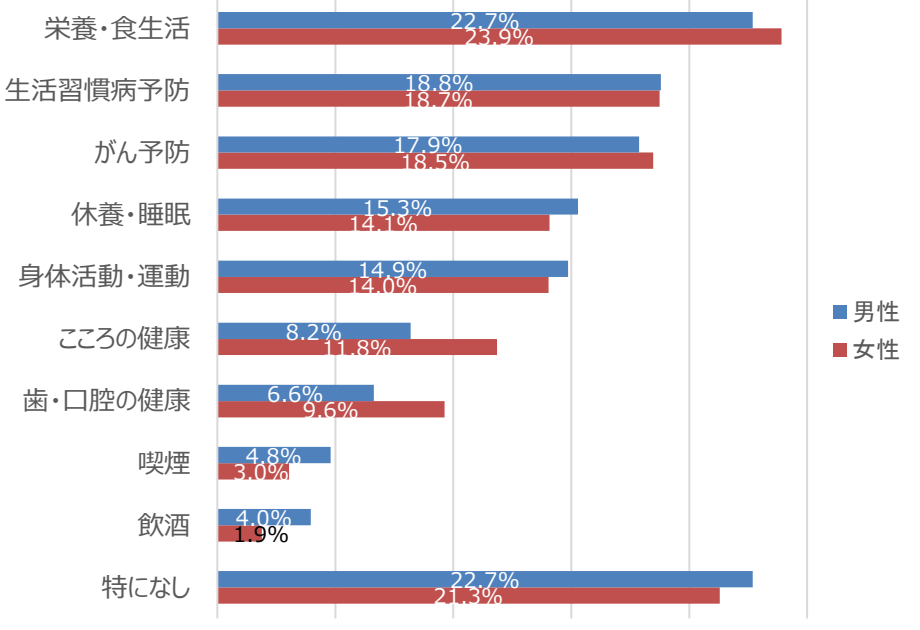
(分母が回答者数、分子が項目ごとのチェックした回答者数。複数選択可のため、合計が100%にならない。)

全国



※ 回答者数 男性295,504人 女性351,525人

埼玉県



※ 回答者数 男性17,943人 女性20,095人

アンケートに記載した取組例

栄養・食生活	栄養や野菜・塩分摂取量の正しい知識の啓発等
生活習慣病予防	特定健診・特定保健指導等の受診促進等
がん予防	生活習慣改善やがん検診受診促進等
休養・睡眠	適切な睡眠・余暇の充実等
身体活動・運動	ウォーキング・スポーツの推奨等
こころの健康	相談支援体制の充実、メンタルヘルス対策等
歯・口腔の健康	歯科健診の推進等
喫煙	禁煙支援、分煙推進等
飲酒	正しい知識の啓発・相談支援等

＜日本生活習慣病予防協会代表 東京慈恵会医科大学客員教授 和田高士氏コメント＞

(全国) 栄養・食生活が最多でした。体は食事で成り立っていること、そしてどうしても自分の好みの食生活に偏ってしまうからでしょう。一方、喫煙・飲酒は嗜好品とも呼ばれ、個人の好みで味わいや刺激を楽しむため、介入されたくないからか低い結果となりました。「こころの健康」は、男性に比べて女性から多くの回答がありました。抑うつや不安などのメンタルヘルスの問題は、女性の方が男性よりも約2～4倍多くあることから、自治体に取り組んでほしいという希望が回答からうかがわれました。

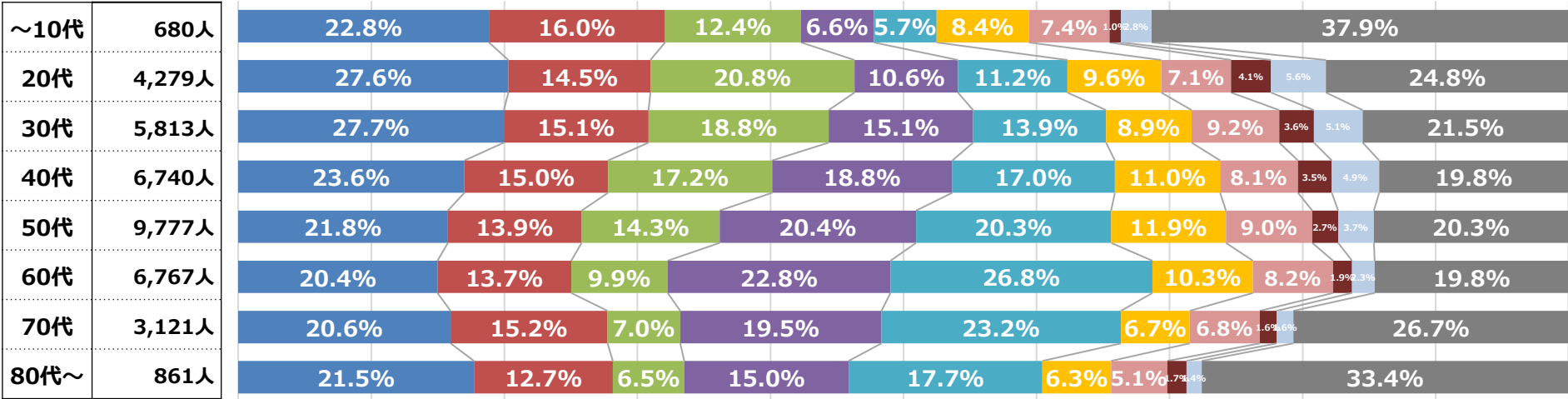
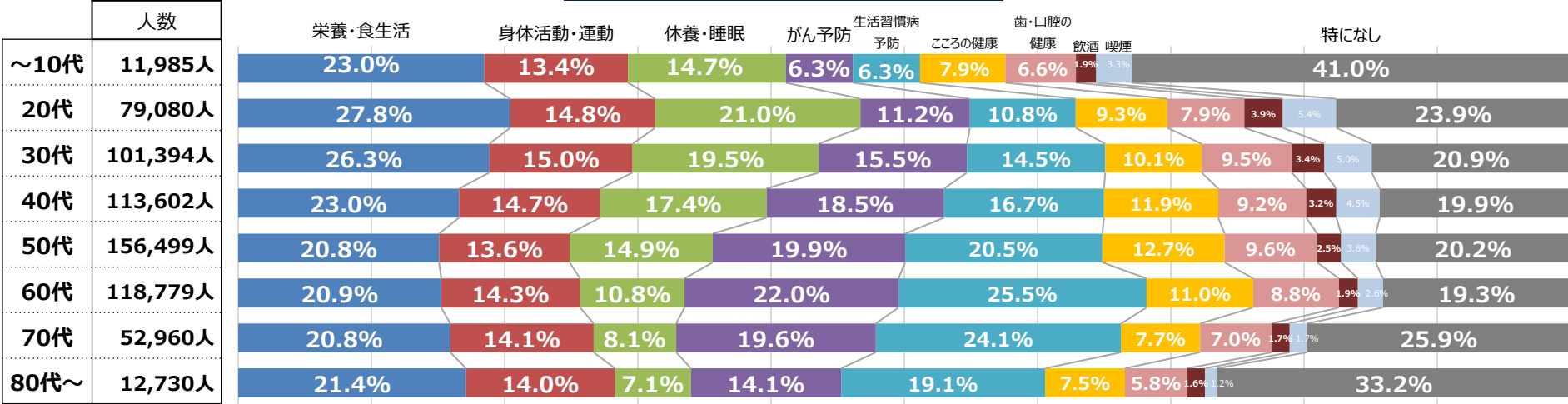
(埼玉県) ・ 全国と概ね同様の傾向

Q7.生活習慣改善に向けて、自治体に重点的に取り組んでほしい分野を選択してください。(2つまで選択可)

全国

埼玉県

取り組んでほしい項目の年代別占率



全国

埼玉県

Q8.身の回りで、生活習慣改善に関する話を聞いてほしい方はいませんか？（2つまで選択可）

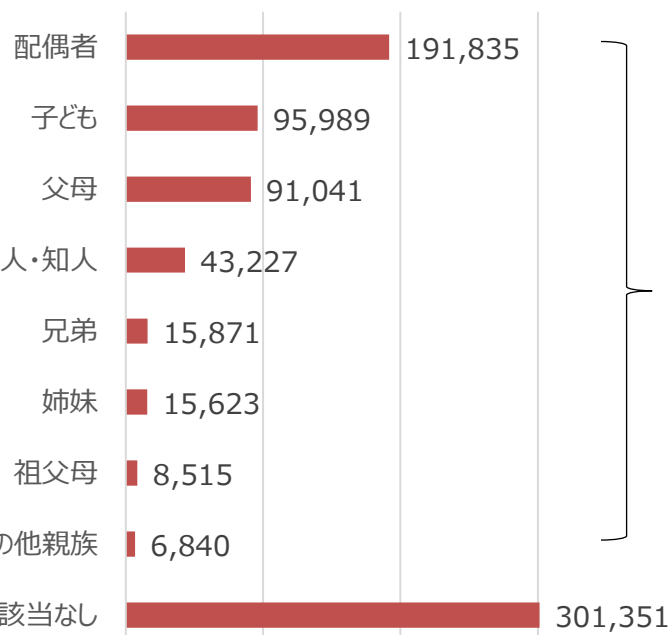
全国

埼玉県

チェックした回答者数

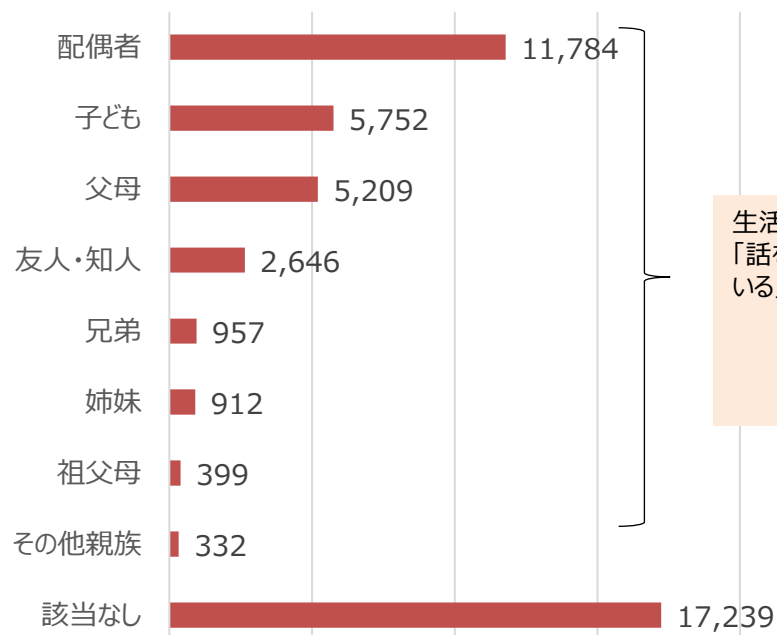
全国

埼玉県



生活習慣改善について
「話を聞いてほしい人が
いる」と答えた方

53.4%



生活習慣改善について
「話を聞いてほしい人が
いる」と答えた方

54.7%

※ 回答者数 647,029人

※ 回答者数 38,038人

（全国）・「生活習慣改善に関する話を聞いてほしい方がいる」と回答した人が半数を超えており、「配偶者」「子ども」「父母」が多い傾向

在24-5061, 地籍圖庫支援

アンケートご協力をお願い

今回実施いたしました「健康サポートアンケート」について、
ご意見をお聞かせください。今後のアンケート調査に役立ててまいります。

回答はこちらから

<https://n-questant.smktg.jp/public/seminar/view/146356>



アンケート項目

Q1.「健康サポートアンケート」について

- (1) 当社の「地域の健康サポート活動」について、どのように評価をされていますか。
- (2) その理由を教えてください。

Q3.「健康サポートアンケート」の項目について

今回のアンケート項目に加えて、地域住民の方へヒアリングしたい健康に関する項目があれば教えてください。

Q5.当社の「がん啓発活動」(8月より開始)について

- (1) 上記取組みについての期待度を教えてください。
- (2) (1)で選択した項目について、具体的な理由等があれば教えてください。

Q2.「健康サポートアンケート」の結果について

- (1) 今回のアンケート結果を庁内の施策に活用できそうですか。
- (2) 「できる」と回答した場合は具体的な活用場面を、「できない」と回答した場合はその理由を教えてください。

Q4.地域の医療・健康課題への解決に向けた取組みについて

最も重要視している地域の医療・健康課題を教えてください。

Q6.「ニッセイ医療費白書」のお届けについて

- (1) 上記取組みについての期待度を教えてください。
- (2) (1)で選択した項目について、具体的な理由等があれば教えてください。

ご紹介～日本生命の取組みについて～

ニッセイ医療費白書のお届け活動開始について

～全国自治体にNDBを活用したニッセイ医療費白書をお届けします～

ニッセイ医療費白書とは

厚生労働省のデータ（※）を活用し作成した医療費分析レポートです。
 疾病ごとの有病率、患者一人当たり医療費、住民1人当たり医療費を集計、
 性・年齢調整することで、高齢化率等の要素を排除した医療費課題を可視化し、
約1,300自治体(人口1万名以上の市区町村)の医療費傾向を分析いたします。
 「ニッセイ医療費白書」の提供を通じて、地域住民の健康増進への貢献を
 目指し、**広く無償提供を開始する**予定です。

※ナショナルデータベース(NDB)と呼ばれる、厚生労働省が管理する「レセプト情報・特定健診等情報データベース」

「ニッセイ医療費白書」のイメージ



活用事例①

がん政策のディスカッション

全国ベンチマークと比較しながら、5大がんの中での有病率や医療費を確認し、
 具体的に日本生命が一緒に取り組める政策・取組を討議

STEP1：課題の抽出

癌種名	項目	95%信頼区間	全国 ベンチマーク	【○○県】 ベンチマーク	ベンチマーク比較
大腸がん	有病率	0.19-0.31	0.27	-	※
	患者1人当り医療費	55,012-160,230	31,110	-	※
胃がん	1人当り医療費	120-411	200	-	※
	有病率	0.07-0.14	0.17	-	※
肺がん	患者1人当り医療費	50,569-238,409	200,877	-	※
	1人当り医療費	43-200	200	-	※
腎臓がん	有病率	0.00-0.15	0.16	-	※
	患者1人当り医療費	-	-	-	※

肺がんが全国と
比較して、課題



STEP2：具体取組提案・実施

課題に合わせて、
 地域課題に応じたがん検診案内



活用事例②

生活習慣病政策のディスカッション

全国ベンチマークと比較しながら、生活習慣病の中での有病率や医療費を確認し、
 具体的に日本生命が一緒に取り組める政策・取組を討議

STEP1：課題の抽出

癌種名	項目	95%信頼区間	全国 ベンチマーク	【○○県】 ベンチマーク	ベンチマーク比較
糖尿病	有病率	3.90-4.34	4.61	-	※
	患者1人当り医療費	39,775-12,259	47,599	-	※
高血圧	1人当り医療費	1,635-3,156	3,341	-	※
	有病率	0.24-0.83	0.95	-	※
脳血管疾患	患者1人当り医療費	28,661-34,271	33,972	-	※
	1人当り医療費	2,442-2,922	3,088	-	※
脂質異常症	有病率	-	-	-	※
	1人当り医療費	-	-	-	※

糖尿病が全国と
比較して、課題



STEP2：具体取組提案・実施

課題に合わせて、
 生活習慣改善サービスの展開
 (例：疾病予防サービスや
 ウォーキングイベント等)



提供元：日本生命病院



Wellness-Star☆のご案内

～企業・団体・健保・共済組合様の健康増進を支援いたします～



当社は、公的医療保険の補完機能を担う生命保険会社として、企業・自治体・健保・共済組合様の健康増進を支援する「ニッセイ健康増進コンサルティングサービス『Wellness-Star☆』」を提供しています。

[ポータルサイトへ▶](#)



現状把握・見える化・コンサルティング

企業 自治体

SAAGAS

ストレスチェックの集団分析を高度化し、職場環境改善や人的資本経営実現に向けたPDCAサイクルを後押し



企業

健康経営®支援サービス（大規模向け）

前年度の調査票や現状の取り組みなどをヒアリングしつつ、お客様とディスカッションをしながらアドバイス

企業

健康経営®支援サービス（中小規模向け）

中小規模法人向けに、健康経営の取組状況の簡易診断ツールの提供・優良法人認定に向けたコンサルティング支援

※一部(株)ビゼル提供サービス

保険者

データ分析サービス

組合様でお持ちの健診・レセプトを分析し、事業所毎・組合全体における医療費や健康課題を可視化



全層向け健康施策

保険者 企業

健診DX

健康診断の予約と結果管理、受診勧奨等の健診運営を一体的にサポート

※(株)パリュールHR提供サービス

保険者 企業 自治体

aruku& for オフィス運動促進支援

ウォーキングイベントで従業員や住民の健康増進を支援



保険者 企業 自治体

METEOR BLASTER 簡易視野チェックVRゲーム

VRゲームを用いた簡易視野チェックで、目の健康に関する啓発や緑内障の早期発見や交通事故・転倒事故の削減にも寄与

※(株)仙台放送提供サービス

特定向け健康施策

保険者 自治体

糖尿病予防プログラム

糖尿病専門医や保健師等と共同開発した「糖尿病予防プログラム」では経験豊富な保健師等が3カ月間、血糖や体重・食事・歩数など、参加者個人のデータを確認しながら保健指導を実施

保険者 企業 自治体

じぶんで血糖チェック

血糖管理ツール「FreeStyleリブレ」を活用し、血糖変動を見える化。日々のワンポイントアドバイス等で生活習慣の改善をサポート



保険者 企業 自治体

BTOC 運転技能向上アプリ

AIを活用した運転技能を向上させる脳のトレーニングサービスであり、ドライバーの安全運転能力を伸ばして交通事故の削減に寄与

※(株)仙台放送提供サービス

保険者 保健事業支援・医療費適正化コンサルティングサービス

個別課題に応じたオーダーメイド分析、分析をもとにした保健事業コンサルティングを実施し、課題解決をサポート

企業 自治体 ルナルナ オフィスフェムテック 総合サービス

女性のライフステージに合わせた様々な健康課題の改善を総合的に支援することで健康課題の解決・働きやすい職場づくりをサポート

※(株)LIFEM提供サービス

2025年度 当社地域振興取組

	4月～7月	8月～11月	12月～3月
全社一律	交通安全啓発 	がん啓発 	地域の健康サポート 
支社独自	地域課題・自治体要望に応じた支社独自取組 (地域イベント協賛・スポーツ・子育て・教育など)		

「交通安全アンケート」の案内をはじめ、警察庁・交通安全協会の協力のもと

交通安全の啓発を地域全体へ広げていく活動

＜交通安全アンケートビラ＞

アンケート期間：2025年3月25日(火)～2025年7月27日(日)

[illegible]

アンケート回答の流れ

QRコードもしくは
URLから
アンケートサイトへ
アクセスし、
エントリーコードをご入力ください。

（アンケートコード）

アンケート回答と
ご本人様情報をご入力ください。

アンケート回答（画像）

※アンケート回答のやりかたは
お申し込みの案内書にて
説明しておりますので必ず
ご確認ください。

※アンケート回答のやりかたは
お申し込みの案内書にて
説明しておりますので必ず
ご確認ください。

※アンケート回答のやりかたは
お申し込みの案内書にて
説明しておりますので必ず
ご確認ください。

※必ずご確認ください

2023年7月27日（金）13:35-9

※アンケートURLは申し込みの案内書にてお知らせいたします。

交通事故にあわない・起こさないために

アンケート回答完了後、交通事故の発生や、抑止・減損に向けた活動を展開する機会として、弊社代表者よりお話を
の動画をご覧いただけます。
是非ご確認ください。

一般敬称
株式会社 Daiichi Sankyo
代表取締役社長
加藤 雅弘 氏

LINE をご利用される方はぜひ友だち追加をお願いします。

ご自身のスマートフォンアプリをダウンロードしていただき、友だち追加をお願いします。

友だち追加方法はこちら

LINE をご利用される方はぜひ友だち追加をお願いします。

株式会社 Daiichi Sankyo

日本企業と公式LINEに追加してください

友だち追加後は友だち検索機能にてLINE

検索機能にて「株式会社 Daiichi Sankyo」

と入力して検索してください

友だち追加後は友だち検索機能にてLINE

※本サイトに掲載されている内容は、本サイトに掲載されている内容に基づいて作成されたものであり、必ずしも正確な情報であることを保証するものではありません。また、本サイトに掲載されている内容は、本サイトに掲載されている内容に基づいて作成されたものであり、必ずしも正確な情報であることを保証するものではありません。

本サイトに掲載されている内容は、本サイトに掲載されている内容に基づいて作成されたものであり、必ずしも正確な情報であることを保証するものではありません。また、本サイトに掲載されている内容は、本サイトに掲載されている内容に基づいて作成されたものであり、必ずしも正確な情報であることを保証するものではありません。

日本企業と公式LINEに追加してください

友だち追加後は友だち検索機能にてLINE

検索機能にて「株式会社 Daiichi Sankyo」

と入力して検索してください

友だち追加後は友だち検索機能にてLINE

検索機能にて「株式会社 Daiichi Sankyo」

と入力して検索してください

友だち追加後は友だち検索機能にてLINE

検索機能にて「株式会社 Daiichi Sankyo」

お問い合わせ

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

株式会社 Daiichi Sankyo

＜アンケート項目＞

Q1. 現在、一緒にお住まいの方はいらっしゃいますか？ （複数選択）			継続
☐ はい ☐ いいえ	☐ 配偶者 ☐ 親戚・知人等	☐ 子ども	
Q2. ご自身（同居の方も含む）は自転車保険に加入していますか？			継続
☐ はい ☐ わからない	☐ いいえ ☐ 自転車を利用しない		
Q3. <「いいえ」と回答した方> 自転車保険に加入していない理由のうち、最もあてはまるものを選択してください。			継続
☐ きっかけがなかったから ☐ どの保険に加入して良いかわからなかったから ☐ 入り方がわからなかったから ☐ （努力）義務化を知らなかったから（されてないから） ☐ 保険料が高いから ☐ 必要性を感じないから			
Q4. 2024年11月より自転車の「ながらスマホ」「酒気帯び運転」が厳罰化されたことをご存知ですか？			新設
☐ 詳しく知っている ☐ 聞いたことがあるがよく知らない		☐ 大体知っている ☐ 全く知らない	
Q5. <Q4で「詳しく知っている」「大体知っている」と回答した方> Q4の厳罰化について、どこで知りましたか？			新設
☐ 雑誌・新聞 ☐ SNS ☐ 学校	☐ ニュース番組 ☐ ポスター掲示 ☐ 勤務先	☐ テレビCM ☐ 家族・知人 ☐ その他	
Q6. 交通事故抑止に最も必要と思う取組は何ですか？			継続
☐ 交通安全意識の啓発や交通ルールの教育 ☐ 事故多発地点等の周知 ☐ 道路環境の整備（歩道や信号機の設置等） ☐ 取締り・罰則の強化 ☐ 車両の安全機能の向上、普及（ドラレコ設置、自動ブレーキ等）			
Q7. 暮らしに関わる次のリスクのうち、最も心配なものはどれですか？（複数選択）			継続
☐ 地震・津波 ☐ 火災 ☐ ペットの病気・ケガ ☐ 熱中症	☐ 風水災（台風・洪水） ☐ 交通事故 ☐ 日常生活における賠償（他人のものを壊す・他人にケガを負わせる）		

今後の当社地域振興取組について

～2025年度も引き続き地域振興取組を実施してまいります～

■ 当社地域振興取組のスケジュール（予定）

